

目 次

はじめに.....	2
第1章 第1回アンケート調査.....	3
第1節 要約.....	3
第2節 OA実施のための課題	4
第2章 第2回 OA アンケート調査	6
第1節 回答企業のプロフィール.....	7
第2節 OA 実施度.....	7
第3節 情報不足となっている理由, 原因.....	8
第4節 情報ニーズとその要求度.....	9
第5節 今までの情報源とその満足度.....	11
第6節 各種公的機関の利用度.....	14
第7節 OA 教育について.....	14
むすび.....	16
補 章 OA 化の効果.....	18
付表1	22
付表2	28
付表3	44
アンケート調査表.....	50

和歌山県のオフィスオートメーション ——課題と方策

小 島 敏 宏

はじめに

和歌山県は大阪に隣接しているとはいえ、基幹交通網からはずれているために年々経済活動の比重が低下し、近年はとみに地盤沈下が大きく後進地の様相を濃くしている。情報化や円高という環境変化にたいして日本経済のリストラクチャリングの必要が強く叫ばれているが、地方経済においては、特にそのことが緊急事となっている。しかし、経済のソフト化、あるいは、製造業中心の経済構造から第3次産業主体の内需主導型に変換するためには、情報技術を取り込んだ新しい産業群を創出しなければならない。ところが、情報技術の利用は今までのところ大企業中心で進行しており中小企業はようやくスタート台に立ったばかりである。ということは、結局、構造変革も大企業の集中する大都市から中小企業の地方へという順序をとることを意味する。大企業の情報ニーズの高まりは情報産業を吸引し、ますます大都市の情報インフラストラクチャーを累積させる。東京圏への集中現象とくに情報の集中はこのような見方を証明している。地方の情報化がこのように遅れていくなれば地方における構造変革は至難のことと言わねばならない。

そこで、我々は和歌山県の情報化を促すための一助となるように、昭和60年10月にOAの実態調査を実施した。その結果は『和歌山県におけるオフィスオートメーション』という報告書にまとめられているので参照願いたい。この調査によって、OAに関する情報の不足とOAを担当する人材の不足がOA化を

推進するためのネックであることが明らかになった。そこで、次のステップとしてこの2点に焦点を絞って再度アンケート調査を実施することにした。本稿は主にこの第2回アンケート調査の結果報告である。

第1章 第1回アンケート調査

第1節 要約

第2回目の結果を報告するまえに、前回におこなったアンケートの結果を簡単に要約しておこう。⁽¹⁾

- 1) OAを実施している企業は回答企業509社のうち65.8%の345社であった。
- 2) 実施している企業の割合は企業の規模が大きいほど高いが、従業員30人以上の企業になると急に高くなる。
- 3) オフコン、パソコンの適用業務はいわゆる事務処理業務が中心であり、計画業務にはほとんど使われていない。
- 4) OA教育を実施しているのは約30%であり、その内容も主としてメーカー・ディーラーの講習会による機器操作法の教育である。その結果、自社でシステムを開発できるのは20%弱である。
- 5) 自社のOA実施度を5点満点で自己評価してもらったところ、3.53（全回答企業の平均、以下同じ）であった。この総合評価の他に以下の個別要素別の評価も求めたところ、人的充足度が3.55、OA投資度が3.46、情報蓄積度が3.43、教育体制充実度が2.35という結果を得た。
- 6) 総合評価と個別要素別の評価との相関係数を求めたところ、情報蓄積度の評価と最も強い相関を示した。
- 7) OAを実施する上で第1の問題点は、知識や情報の不足であった。つづいて人材難、業務の複雑さが挙げられた。
- 8) 今後の取り組みとしては、業務内容の見直しと標準化作業がいちばん多

(1) 和歌山大学経済学部『和歌山県におけるオフィスオートメーション』昭和61年3月。以下『報告書』という。

く、次いで情報化へ向けての全従業員の意識改革が続き、第3位に人材の獲得が挙げられた。

- 9) OAという言葉から連想される機器としては、ファクシミリ、オフコン、ワープロの順で上位3つを占めた。しかし、今日盛んに取り上げられているVANとかPOSについては知識も少なく、関心も低かった。

OAの実態調査は他の府県でも実施されており、限られた期間であるが入手できた報告書を参考にして別紙参考資料のようにまとめてみた(附表1参照)。調査時期、調査対象企業(業種、規模)、調査項目や設問のしかた等、単純な比較は危険であるが、上記1から4までについては和歌山県も他府県とよく似た実態を示していることが分かる。

第2節 OA実施のための課題

さて、前節の要約のなかにも見られるが、第1回目の調査から2点ほど興味ある事実が見つかったので、検討しておきたい。

その1つは自己評価点の差異についてである。すなわち、人的充足度が比較的高いのに教育体制充実度が極端に低いという矛盾した結果が得られた。自社の教育体制が不十分であるにもかかわらず人材がある程度充足されているというのは、どのようなことであろうか？ しかし、一見矛盾したこの結果もつぎのように考えることで説明がつくかもしれない。それは教育内容の違いである。すなわち、OA教育にはOA専門家を養成するための専門的な教育とOAユーザーに対する一般的な教育の2つがある⁽²⁾。したがって、教育体制という場合の教育とは専門家の育成教育でなく、一般的なOAユーザーの教育であると回答者は解釈したのかも知れない。他方、人的充足度という場合の人材とは通常OA専門家を考えるから、教育体制の充実度と人的充足度の間には関係がないこととなる。このように解釈するならば、次に情報蓄積度の自己評価点もやや低かったことは、教育体制の不備が原因であると理解できる。それにしても、前

(2) 『報告書』PP. 33-34。

節の4)からも明かなように、OA専門家が育っていないにもかかわらず人材の充足度が比較的高かったのはどういうわけであろうか。ほとんどの小企業ではソフト開発を外部の業者に任せているのでOA専門家の育成がそれほど緊急事でないことが考えられる。したがって人材の充足度にたいして甘い自己評価になったのかも知れない。

第2の点は、OA実施上の課題と今後の取り組みが対応していないという点である。実施上の課題で第1位にあげられたのは情報不足・知識不足であった。しかし、この問題が余り深刻に考えられていないのか、今後の取り組みの項目では第2位になっている⁽³⁾。そして、今後の取り組みで1位は業務内容の見直しと標準化となっている。これは課題の第3位にある業務の複雑さに丁度対応する。業務が複雑であるためにOA化を進めにくいから、今後標準化をしていかねばならないと考えているのである。課題の第2位に挙げられた人材不足問題が今後の取り組みでは第3位になっている。これらの関係を図示しよう。

	課 題	今後の取り組み
1 位	情報不足	業務内容の見直しと標準化
2 位	人材難	従業員の意識改革
3 位	業務の複雑さ	人材確保

以上、情報不足と人材不足の2点をめぐって多少の矛盾といおうか潜在的な問題があることが抽出できた。さらに、以下に示すような結果とを総合すれば、この2点がOA進展の2大ネックになっていることが分かる⁽⁴⁾。

情報不足を示す調査結果

1) OA実施上の問題点の第1位に挙げられたこと。

(3) 情報不足の課題にたいして従業員の意識改革という取り組みを対応づけるのは若干の無理があるかもしれない。しかし、OAに関する情報や知識を従業員に教育することで彼らのOAにたいする意識を改革することができるのである。ここでも情報不足→教育→人材確保というよりは、情報不足→教育→一般的な意識改革という連鎖が考えられる。

(4) 『報告書』でも、この2点がやはりOA推進を阻害している2大ネックであることを指摘した。PP. 41-42。

- 2) OA実施度の総合評価点は情報蓄積度の点数に最も強く関連していること。
- 3) OAイメージにおいて、最新の情報機器とそれらを利用する情報システムに対する反応が低かったこと。

人材不足を示す調査結果

- 1) OA実施上の問題点の第2位に挙げられたこと。
- 2) OA教育を実施しているのは、ごく限られた企業だけであること。
- 3) 自己評価においても教育体制の充実が一番おくと評価していること。

第2章 第2回OAアンケート調査

県下の中小企業の規模分布を考慮すれば、OA実施度65.8%という数字は決して他府県に劣るものではないが、情報化最前線から見ればやはりかなりの立ち遅れが見受けられる。そこで、前回の結果を出発点として、現在どのような情報が不足しているのか、OA教育で何が問題点になっているのか等を調査する必要を感じた。本章はこの第2回アンケート調査の結果報告である。

表1 回答企業のプロフィール

従業員規模別分布			業種別分布		
	今回	前回		今回	前回
1—9人	13(6.0%)	40(7.9%)	製造業	75(34.4%)	182(35.8%)
10—19人	44(20.2%)	99(19.4%)	建設業	26(11.9%)	69(13.6%)
20—29人	33(15.1%)	82(16.1%)	卸売業	55(25.2%)	127(25.0%)
30—49人	37(17.0%)	94(18.5%)	小売業	24(11.0%)	48(9.4%)
50—99人	45(20.6%)	102(20.0%)	サービス業	21(9.6%)	61(12.0%)
100—299人	32(14.7%)	74(14.5%)	その他	11(5.1%)	22(4.3%)
300—	6(2.8%)	15(2.9%)	無記入	6(2.8%)	0(0.0%)
無記入	8(3.7%)	3(0.6%)			
合計	218社	509社	合計	218社	509社

第1節 回答企業のプロフィール

前回の調査で回答を頂いた509社にたいして調査書を送ったところ、昭和62年5月末の締切日までに218社から回答を頂いた。今回の回答率は42.6%である。従業員規模別分布、業種別分布は表1の通りである。ほぼ前回と同じ分布をしているが、小売業の回答率が高くなり、製造業・建設業・サービス業の比率が小さくなっている。

第2節 OA実施度

前回と同じように、今回も念のためにOA実施の有無を尋ねた。今回回答された218社についてOA実施の変化を示したのが表2である。全体に実施度が高まっていることが分かる。⁽⁵⁾ 参考までに前回の回答企業509社全体についての数字も掲げておく。

表2 OA実施度

	今 回	前 回	前 回(参考)
必要がない	7(3.2%)	8(3.7%)	17(3.3%)
必要だが実施できない	31(14.2%)	35(16.1%)	99(19.5%)
実施予定	13(6.0%)	17(7.8%)	47(9.2%)
一部実施中	117(53.7%)	108(49.5%)	264(51.9%)
本格的実施	49(22.5%)	44(20.2%)	81(15.9%)
無記入	1(0.5%)	6(2.8%)	1(0.2%)
合 計	218社	218社	509社

表2で一部実施中と本格的実施の企業の比率を従業員規模別にみると表3のように変化している。この表の中のパーセントは、規模別回答企業に占める実施企業の比率を示す。前回の『報告書』で20—30人のクラスがOAの実施上最も問題であると指摘したが、この一年半の間にこのクラスでOA化に踏み切った企業が多かったという興味ある結果が得られた。

(5) 前回の回答で外部委託と答えた企業は今回一部実施中に含めた。

表3 規模別OA実施度

	回答企業	実 施 企 業	
		今 回	前 回
～ 10人未満	13	7 (53.9%)	7 (53.9%)
10人以上 ～ 20人未満	44	27 (61.3%)	26 (59.1%)
20人以上 ～ 30人未満	33	24 (72.8%)	17 (51.5%)
30人以上 ～ 50人未満	37	28 (75.7%)	27 (73.0%)
50人以上 ～ 100人未満	45	39 (86.7%)	38 (84.4%)
100人以上 ～ 300人未満	32	30 (93.8%)	29 (90.7%)
300人以上 ～	6	6 (100.0%)	6 (100.0%)
無 記 入	8	5 (62.5%)	2 (25.0%)
合 計	218社	166社(76.2%)	152社(69.7%)

第3節 情報不足となっている理由、原因

情報不足が課題であればそれを解決するためにはその原因を探らねばならない。そこで今回、何が原因で情報不足となっているのかを尋ねた。174社から1社平均2.5件回答があった。その結果が表4である（業種別、規模別、地域別については付表2参照）。

ニーズに合った情報がないという回答が飛び抜けて多かったことは、どのような情報を希望しているかを調査しようとした今回の調査目的に偶然にも合致

表4 情報や知識が不足している理由

選 択 肢 文	度数	%	0	55.0	110.0
情報の入手先が分からない	25	14.4	■		
近くに相談所がないので不便である	27	15.5	■		
費用がかかりすぎる	66	37.9	■		
ニーズに合った情報がない	110	63.2	■		
情報が古くて役に立たない	3	1.7	■		
片寄らない公平な情報がない	38	21.8	■		
情報のどれが適当か分からない	48	27.6	■		
忙くてそこまで手が回らない	44	25.3	■		
内容が難しく理解できない	30	17.2	■		
技術の進歩が速くて追いつかない	32	18.4	■		
そ の 他	4	2.3	■		
合計	427				

している。以下の第4節と第5節においてニーズに合った情報とはどのような情報であるかを述べている。第2の理由は費用がかかりすぎるというものであった。この理由を挙げた企業のなかには情報の価値に比べて価格が高すぎるといふ企業と、情報の価値は認めるが価格そのものが支払い能力を超えているといふ企業があろう。いずれにしても、有用な情報を提供しようといふ情報提供業が成立するか否かを占う意味で重要である。

第4節 情報ニーズとその要求度

前節の結果からも、OA化のための情報ニーズを明らかにすることが重要である。そこで、ハード、ソフト、コンピュータ利用、OA教育等について様々な情報を列挙し、各情報がどの程度必要であるかを答えてもらった。全然必要でないを1点とし、ぜひともほしいを5点とする5点尺度で測定された。要約した結果を次頁の表5で示そう。

この表において希望度とはその情報をかなり欲しい(4点)と答えた企業とぜひとも欲しい(5点)と答えた企業の合計の回答企業全体にたいするパーセントである。概略をみると

- 1) プログラミング言語やソフトウェアパッケージよりもOA機器に対する希望が強い。しかし、最も希望の多かったのはハードとソフトの組み合わせであった。
- 2) コンピュータ化のための業務改善方法についてもかなり高い要求がみられたが、コンピュータ適用業務や導入の留意点といったOA実施に直接関係する情報についてのニーズが低かった。
- 3) OA教育や公的な制度へのニーズは高いとは言えない。
- 4) コンピュータ通信、ネットワークへのニーズはさらに小さい。

といったことが読み取れる。しかし、各情報への希望度は全体としてさほど強くなく、あればよい(3点)という程度の希望度であった(付表3参照)。情報不足がOA化の最大の課題であるという割りには今ひとつ切実感がない結果と

表5 情報ニーズ

情報の種類	希望度 (%)
1. OA機器のメーカーに関する情報	20.7
2. OA機器の機能に関する情報	36.2
3. OA機器の価格に関する情報	35.1
4. OA機器の新製品に関する情報	41.3
5. OA機器の比較・選定に関する情報	48.2
6. プログラミング言語の知識	24.4
7. 応用プログラム開発業者の情報	25.6
8. 応用プログラムの妥当な価格	33.3
9. 業種別ニーズ別のソフトパッケージ	33.4
10. ソフトパッケージの比較選定に関する情報	36.3
11. ネットワーク構築の方法	22.6
12. 通信用機器に関する知識	20.1
13. 通信業者提供のサービスの情報	22.5
14. コンピュータ適用業務の見分け方	32.1
15. コンピュータ導入のための留意点	30.5
16. コンピュータ化のための業務改善方法	41.1
17. ニーズに合ったハードとソフトの組み合わせ	49.2
18. コンピュータの導入効果の情報	33.0
19. 他社の成功例に関する情報	32.8
20. 他社の失敗例に関する情報	37.2
21. 社員教育の効果的な方法	32.5
22. 社員教育のための適切な教材	29.2
23. 公的な教育機関	24.2
24. 民間のOA教育機関, 専修学校	18.5
25. 自習のための適切な雑誌, 書籍等	26.4
26. 公的な資金援助制度	29.3
27. 公的なOA相談所	27.3
28. 講演会, セミナー, 展示会等の情報	26.4

なっている。回答者の情報ニーズを掴み切れなかったようである。そこで、OA化の相談業務を行なっている中小企業OAシステムセンター（東京）がどのような相談を受けたかという結果を示しておきたい。表6の結果は昭和60年度の相談件数のまとめである。この資料によるとコンピュータ導入・レベルアッ

(6) 中小企業OAシステムセンターの資料より。

表6 中小企業OA化についての相談項目

適用業務にたいする導入相談	179件
コンピュータ導入レベルアップの相談	291件
費用相談	19件
ハードウェア・ソフトウェアの相談	16件
コンピュータの知識について	66件
中小企業OAセンターについて	17件
情報の利用方法	5件
トラブル	3件
指導者教育	2件
OA教育	7件
その他	10件
合計	615件

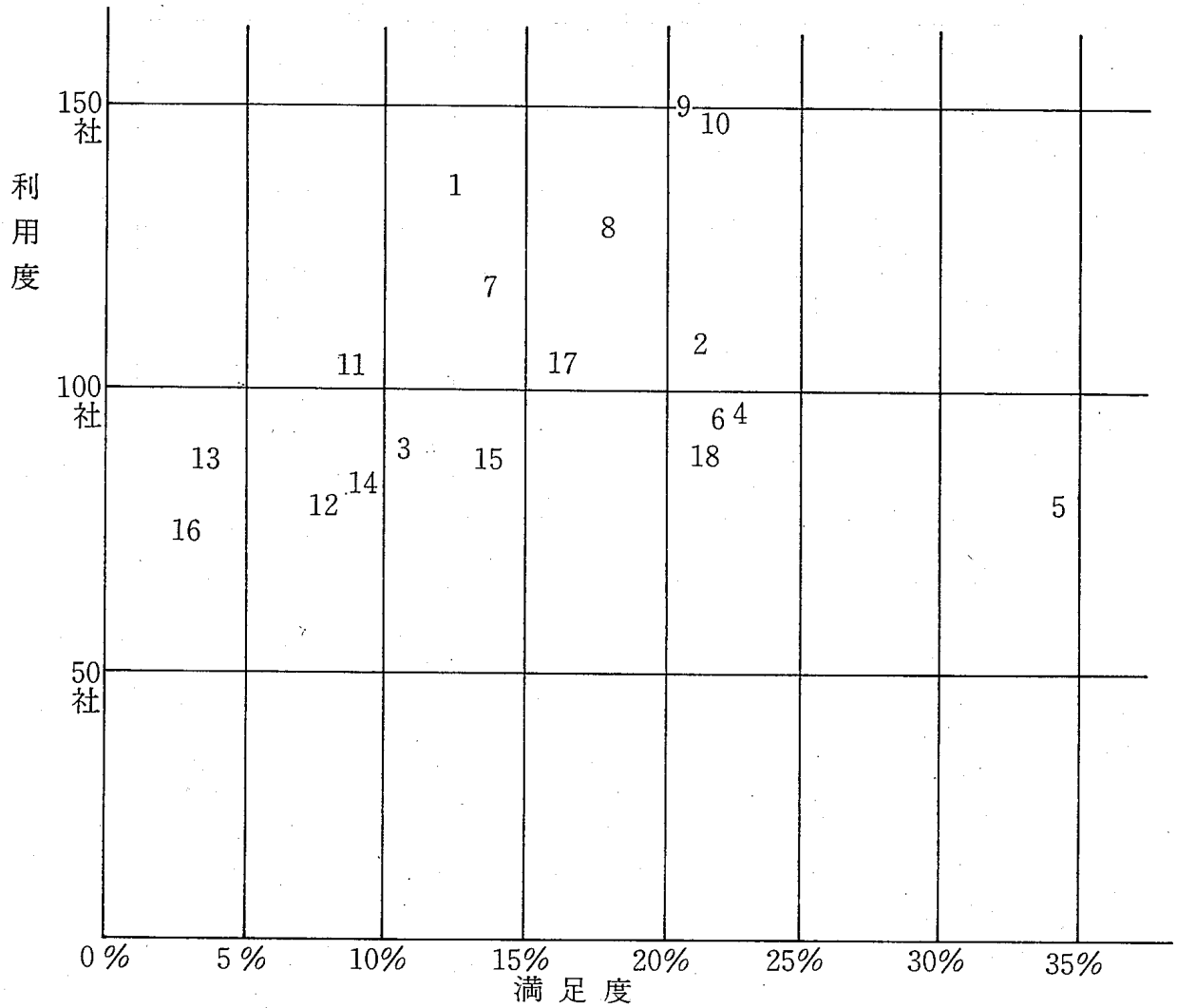
プの相談、適用業務の相談が飛び抜けて多く、和歌山県のニーズとは際立った差をみせている。東京を中心とする地域ではOA機器についての情報は、展示会やメーカーのショールームで簡単に入手できるのに対し、和歌山県ではそのような機会も少ないことがこの回答に反映されている。

表6の内訳は下記の通りである（10件以上の項目）。適用業務としては、販売管理25件、顧客管理17件、仕入発注管理14件、財務経理システム14件、生産管理13件、POSシステム13件、在庫管理10件、売掛金・買掛金管理10件、オンライン化10件である。

コンピュータ導入としては、導入の留意点59件、パッケージの選定31件、ハードの選定27件、有効活用方法26件、業務改善の方法17件、メーカーの選定17件、社内体制16件、ソフト開発16件、適用業務の見分け方13件、導入効果13件、レベルアップ13件がある。

費用の相談は17件が導入費用の相談であり、融資先の紹介1件となっている。コンピュータの知識の内訳はコンピュータの知識10件、ワープロについて10件となっている。

第5節 今までの情報源とその満足度



- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 一般新聞 | 2 業界新聞 |
| 3 一般雑誌 | 4 業界誌 |
| 5 OA専門誌 | 6 書籍 |
| 7 テレビ・ラジオ | 8 講習会, セミナー, 講演会 |
| 9 OA機器メーカーのセールスマン | 10 OA機器ディーラーのセールスマン |
| 11 税理士, 会計士 | 12 コンサルタント |
| 13 商工会議所, 商工会 | 14 業界の団体 |
| 15 金融機関 | 16 公的な研究所, 試験所 |
| 17 同業者 | 18 友人 |

図1 各種情報源に対する満足度

OA化を阻害している情報不足問題を克服するためには、情報ニーズの調査とともにもう1つ、各企業の情報収集活動を知らねばならない。そこで、現在どのような情報を利用しているのか、そしてその情報にたいしてどの程度満足を感じているのかを尋ねた。結果は分かりやすいように前頁の図1のように加工した。図の中の数字は各情報源の番号である。縦軸の利用度とは情報源の1)から18)までの各々について今までに利用したと回答した企業数である。一方、満足度とはその情報源を利用している企業のなかで満足度が高い(回答では4か5を選んだ)企業の比率である。

分布はほぼ右上がりとなり、満足度が高いと利用度も高くなっている。この図が示す問題点は税理士、会計士、コンサルタント、商工会議所や商工会、公的な研究所・試験所といった専門家グループへの評価が非常に低いことである。中小企業では自社内に情報専門家を抱えておくことが困難であるから、外部の専門家グループに依存する度合いは非常に高い。このような企業の要求に応えられるような体制が必要であろう。この点はなにも和歌山県に限ったことではない。中小企業診断士の資格のなかに情報処理部門が創設されたのは61年度であることをみれば、OA化について相談できる体制づくりは始まったばかりと言わなければならない。

しかし、図1については若干の注意も必要と思われる。まず、満足度というのは期待度に対応した相対的な尺度であるということである。例えば、一般雑誌にたいしては10.1%もの企業が満足しているが、各種専門家グループへの満足度は10%以下である。このことは専門家グループに比べて一般雑誌から多くの情報が得られることを必ずしも意味しない。専門家グループへの期待が高い割には欲した情報を得られないために、彼らにたいする満足度が低くなったとも考えられる。次に、満足の内容に違いがあることも注意すべきである。例えば、セールスマンにたいする満足度が非常に高くなっている。それは、セールスマンの提供する情報は主として機器の操作方法であり、それらは一般的に言って、教えやすく、かつ、習得しやすい情報である。これにたいして、専門家

グループに求められている情報は個別的具体的な問題解決に直結した情報である。そして、専門家といえどもそのような情報は容易には蓄積できない。この点も専門家にたいする満足度が低かった原因の1つであろう。

第6節 各種公的機関の利用度

OA化の情報不足を補うために和歌山県にも各種の公的機関が設置されている。また、OA化を推進するための支援制度も若干揃っている。情報不足が課題であるという前にこれらの機関・制度を知り、利用することを考えるべきだと思うのは当然であろう。しかし、調査結果によると、予想以上に知られていないことが分かった（下記の表7を参照）。当和歌山大学でもかつてOA化のための公開講座を開いたが、それについて知っていた人の数は驚くほど少なかった（知らなかったという企業が79.9%）。情報発信側としては、広報活動の重要性を再認識し情報伝達ルートを整備することが重要である。同時に、受信側でも常にアンテナを高くはりめぐらせておくべきであろう。

表7 機関や制度の知名度

機関ならびに制度	知らないと回答した比率
中小企業情報センター	72.4%
商工会の経営指導員	70.8%
商工会議所の経営相談所	58.7%
和歌山県の機械設備貸与制度	74.5%
和歌山県の中小企業融資制度	46.9%
中小企業金融公庫の融資制度	71.0%
国民金融公庫の融資制度	80.7%
コンピュータへの投資減税制度	75.8%

第7節 OA教育について

最後にOA教育並びにOA要員の確保に関する質問をしたが、その結果が次の2表に示されている。表8・表9の中のパーセントは、それぞれ有効回答企業数171社・188社に対する比である。

表8 OA教育の問題点

選 択 肢 文	度数	%	0	40.5	81.0
現社員のなかに適当な人がいない	53	31.0			
社員教育をする時間がない	81	47.4			
社員教育をする場所と施設がない	40	23.4			
社員教育の費用が負担である	32	18.7			
従業員が教育を受けたがらない	35	20.5			
研修会は期間が短すぎる	30	17.5			
研修会は費用が高すぎる	25	14.6			
意欲はあるが忙しくて時間がない	78	45.6			
意欲はあるがついていけない	16	9.4			
教育方法について悩んでいる	51	29.8			
そ の 他	7	4.1			
合計	448				

表9 OA教育, OA要員の確保の対策

選 択 肢 文	度数	%	0	43.5	87.0
やはり社員教育には力をいれたい	87	46.3			
当社にとって現状が精一杯である	40	21.3			
OA教育は当分不要である	42	22.3			
もう少し安い教育機関がほしい	32	17.0			
もう少し近くに教育機関がほしい	52	27.7			
夜間の教育機関がほしい	33	17.6			
通信教育機関がほしい	18	9.6			
OA教育を受けた新卒者がほしい	38	20.2			
人材センターを設置してほしい	27	14.4			
Uターン希望者を紹介してほしい	11	5.9			
そ の 他	1	0.5			
合計	381				

まず、教育の問題点としては時間がないという回答が多かった。つぎに、教育したいが教育する人に適当な人がいないとか、従業員が教育を受けたがらないという点があった。以上の諸点を見ると、教育問題は言うは易く行なうは難しという言葉の思い起こさせる。しかし、今後の対策としてはやはり教育に力を入れたいという考えが圧倒的に多数であり、これ以上無理だとかこれで十分という回答を大きく上回った。したがって、今後の各企業の自助努力に期待したい。

次に、教育方法が分からないという回答が多かったことは、教育関係者とし

ては見逃せない事である。その内容を表5からみると、OA教育の効果的な方法と適当な教材への希望が高く、教育機関についての要望は低かった。教育機関に関する希望としては表9が示すように、近くにほしいが1番となっている。予想通りこの要求は和歌山市から離れるほど強くなっている。2番目3番目に夜間の学校、安い学校と続く。通信教育への希望はもっと多いと思っていたが、結果は非常に少なかった。遠隔地にたいする教育機関を考える際に留意すべきであろう。日本の企業は、一般的に言って、外部の教育機関で教育を受けさせるよりも自社内で教育することを望む傾向にある。日本的経営の特徴の1つであるが、外部の教育機関で得られる知識は一般的であり、各企業の個別ニーズに合った教育を受けられないことも大きい理由と思われる。しかし、中小企業では自社内での教育も思うにまかせられないとすれば、各企業のニーズに合った情報を提供し、ニーズに合った教育を提供するにはどのような施策があるか、これからの大きな課題である。

結 び

2回のアンケート調査に基づき、県下のOA化について実態をみてきた。第1回の調査で、従業員30人以下の小企業にとってはOA化を実施することは、経済的にも人材面でも大きい負担であることが明らかになった。特に、OA担当者を教育し、自社のコンピュータを運営していくことは非常に困難である。OA化を推進しなければならないと考え、教育に力を入れたいと考える企業が多いにもかかわらず、現実には思うにまかせないという状況であった。

このような現実に対して、現在の問題点の1つは、コンサルタント、相談員、税理士、会計士等の専門家にたいする予想外の不満足である。彼ら専門家にたいする期待度はもともと高いうえに、相談内容は直接すぐに役立つアドバイスであり、一般的な総論ではない。企業が今最もほしがっている個別情報である。一般論は新聞・雑誌・テレビ等から手に入れることができる。また、大学やOA専門学校で教えられる内容も一般的な話であることが多い。したがって、中

小企業への情報提供において専門家、和歌山県にあっては商工会や商工会議所の相談員が果たすべき役割は大変大きいと言わざるをえない。まず相談員からOAへの関心を高め、地域のOA化推進に貢献してもらわなければならないというのが今回の結論の1つである。その際、相談にのったケースについて記録をしっかりと保存し、相談員仲間での知識の蓄積と共有に努めることが必要であろう。できればマニュアルを作成し、一定の様式で各相談員が相談事項とアドバイスを記録しておくならば、よい資料ができあがるだろう。

第2は、大学や専門学校の役割である。教育機関としてどのような機能を果たすべきか、これから十分考慮していかなければならない。コンピュータ教育の経験を生かした良い教材の作成（基礎編と応用編）を心掛けたいし、CAI（コンピュータを利用した教育）の可能性も検討してみたい。

中小企業においてもOA化をやればできるという状況になってきた。むしろ、規模が小さいためにOA化を進めることが容易であるという点もある。要は情報化社会の到来という環境の変化をどのように受け止め、それに対処するかである。第1回目の調査によれば、OA化を妨げているのは情報不足や知識不足であった。そのために、2回目の調査でどのような情報を要求しているかを調べようとした。しかし、ぜひとも欲しいと答えた情報が少なく、あれば望ましいという程度の回答がほぼ半数を占めていた。情報不足がもっと切実な問題であろうと考えていたので拍子抜けの印象を受けた。調査方法にもうすこし工夫が必要であったのであろうか、今一つ回答企業全体の要求を掴み切れなかった。ひきつづき訪問調査を実施しながら、この問題を掘り下げていかなければならないと考えている。

最近大阪のOA関係者から和歌山県は眠っているというジョッキングな言葉を聞いた。たしかに大阪府（市）では中小企業の情報化にたいしていろいろな施策を実施しており、他方、企業側も真剣な取り組みを行なっていることを見聞きすることが多い。本県が他府県からさえ指摘されるほど情報化に不感症になっているのであれば、時間の猶予はないだろう。県や市も企業側の努力をバ

ックアップする体制をとって、情報後進県からの脱却を図ってもらいたいと念願する次第である。

補章 OA化の効果

OA化を推進するうえでOAの効果をどのように認識しているか、特に中小企業がどのように捉えているかはかねてより関心のあるテーマであった。そこで、この機会を借りてOA導入の効果について短い質問票を添えた。ここではその結果を報告しておきたい。

表10 OA利用の効果

OA の 効 果	効果があったと回答した企業の%
人員が削減された	20.0%
採用人数が減少した	16.6%
業務量が増えたが人員は今まで通りである	43.2%
残業時間が削減された	23.1%
経費が削減された	10.2%
受注処理が迅速になりお客に喜ばれるようになった	27.6%
事務処理の時間が減った	41.8%
処理が正確になりミスが減った	53.2%
会社のイメージがよくなった	34.0%
社員のモラルが高まった	19.2%
金額・数量の把握が容易になった	54.7%
各種経営資料が得られるようになり……	37.5%

OAを推進する以上はその効果が実際にかつ具体的にどのように達成されているかは重大な関心事である。まず、種々の調査においても見られるように事務処理が正確になり、事務処理の時間が減少したという効果が多くの企業から評価されている。次に人員の削減効果についてはどうであろうか。OA化を行なったが人数は前と同じである、したがって人件費の節減には結びついていないといった声を聞くことがある。我々は事務処理が効率化された以上それに係わる人員は減少しなければおかしいと考えていたので、この点に関して細かい質問を用意した。その結果は上の表で明らかである。たしかに採用人員が削減さ

れたという企業は16.6%にすぎない。また、現在の人員を解雇したという数字も20%しかない。しかし、業務量の増大を現員でこなしているという効果を約半数の企業が認めていることはOAの人員削減効果を別の形で示しているというべきであろう。残業時間の減少となって表われていないのも意味深いことである。人事の問題はOAだけで決定される問題ではなく、業況とか将来への見通し、人事政策等多くの要因によって左右される。したがって、OA化と人事問題との関係は直接的な関係にないために、OAの人員削減効果が表面に顕在化していないのである。今までにOA化の効果として過小評価されてきたというのが卒直な感想である。

次に経費の削減効果であるが、この数字が低かったことも巷で耳にする内容と一致している。本来はOA化によって経費も削減されることが望ましい。OAが叫ばれた初期にはこの効果も期待されていたように思われる。しかし、実際OA化を実施してみると経費はむしろ多くなったとさえ言われる。初期投資やOAに不慣れなための経費増などが原因と考えられるが、OAが普及するにつれて経費管理が問題になるであろう。

現在ではOA化の効果は経費の節約ではなく、情報の活用による経営管理への間接的な効果を強調することの方が多い。今回の調査では金額や数量の把握が容易になるとか、経営資料が得られるようになり管理のやり方が変わったという項目がそれである。従業員のモラルの向上という効果も同じように間接的な効果を指している。結果は企業の現状を数字で把握できるようになったという効果に高い評価が集まったが、管理のやり方が変わったという点では低かった。

最後に、OA導入の総合評価としてOAコストとOA効果を比較したネットでプラスかマイナスかを尋ねた。大いにプラスが32.9%、どちらかと言えばプラスであるというのが53.6%であり、合計86.2%の企業がOAの実質効果を認めている。これらの数字は現在時点の評価であるが、将来的にみると評価は一層高まり、大いにプラスが67.6%、どちらかと言えばプラスは18.4%となる。

OAにたいする強い期待感を示している。

謝 辞

今回のアンケート調査に際し、財団法人和歌山大学経済学部後援会より「和歌山県地域に関する研究」助成金の交付を受けた。産業工学科の同僚の諸先生（竹内昭浩，八丁直行，大橋迪男，佐藤周）には第1回の調査データならびにアンケート集計用プログラムの利用を快く承諾して頂き，感謝申し上げたい。竹村憲郎（専修大学），島田達巳（横浜商科大学），高橋敏朗（大阪市立大学），石川弘道（高崎経済大学），郡濱浩（中小企業事業団），西森克巳（中小企業OAシステムセンター），福島健彦（大阪商工会議所），宮下淳（大阪市中小企業情報センター），高松正彦（和歌山県中小企業情報センター）の各氏からは，OA関係の各種調査報告書をお借りした。紀陽銀行，中小企業金融公庫和歌山支店，国民金融公庫和歌山支店，和歌山県商工会の方にもいろいろ御教示賜わった。これらの方々に厚く御礼申し上げる。

第2回目のアンケート集計には一部でQUEST. PACK (Version 1) というコンピュータソフトも利用したが，利用の便宜を与えて下さった辻新六氏（神戸商科大学）に感謝する。また，資料の整理とアンケート集計にはゼミ生（36期）の協力を得た。

参 考 文 献

- 1) 中小企業庁編『昭和60年版 中小企業白書』昭和60年5月
- 2) 中小企業庁編『中小企業の情報化ビジョン』昭和60年10月
- 3) 高崎経済大学附属産業研究所編『群馬からみた先端技術と産業構造の変容』日本経済評論社，昭和62年3月
- 4) 地域情報化研究会編『地域振興と情報化戦略』通商産業調査会，昭和61年10月
- 5) 石川弘道「群馬県における産業の情報化の動向」『産業研究所紀要（高崎経済大学）』第22巻第2号，昭和62年1月，59-82頁。
- 6) オフィス・オートメーション学会『オフィスオートメーション—特集 OAと中小企業』Vol. 7, No. 1, 昭和61年7月
- 7) 竹村憲郎「オフィス・オートメーション実態調査報告」『専修経営学論集（専修大

- 学)』第37号, 昭和59年3月, 181-243頁。
- 8) 商工中金経営相談所『中小企業のコンピュータ利用実態アンケート調査の概況』昭和60年7月
 - 9) 神奈川県商工指導センター『製造業における経営情報の有効活用法』昭和61年3月
 - 10) 和歌山大学経済学部『和歌山県におけるオフィスオートメーション』昭和61年3月

付表 1

項目	和歌山 ¹⁾	大 阪 ²⁾	大 阪 ³⁾	山 口 ⁴⁾
調査時期	昭60. 10	昭57. 11	昭57. 11	昭59. 9
調査対象	OA機器	OA機器	OA機器	コンピュータのみ
回収状況(*)	509/1648 (30.9%)	416/1500 (27.7%)	616/約3000 (20.5%)	445/1500 (29.7%)
回答企業数内訳 (業種別)				
製造	35.7%	70.9%	36.5%	39.1%
建設	13.6%	—	—	11.2%
卸売	25.0%	29.1%	26.1%	7.9%
小売	9.4%	—	37.3%	23.4%
サービス・その他	16.3%	—		18.4%
(従業員規模別)				
1人～9人	7.9%	35.1%	14.0%	58.4%
10人～19人	19.4%			
20人～29人	16.1%			
30人～49人	18.5%	22.6%	26.1%	
50人～99人	20.0%	20.9%		7.9%
100人～299人	14.5%	21.4%	36.5%	7.6%
300人～	2.9%		31.2%	
コンピュータ利用の有無 (OA機器)	67.8% (OA機器)	46.6% (OA機器)	64.0% (OA機器)	27.4%
業種別利用度				
製造	69.2%	41.3%	78.7%	35.1%
建設	43.5%	—	—	16.0%
卸売	65.4%	59.5%	65.8%	25.7%
小売	77.1%	—	48.3%	24.0%
サービス・その他	71.1%	—		23.2%
従業員規模別利用度				
1人～9人	40.0%	(**)	44.2%	15.8%
10人～19人	54.5%			
20人～29人	52.4%			
30人～49人	72.3%	26.7%		
50人～99人	79.4%		65.7%	
100人～299人	89.2%	79.4%		
300人～	93.3%		85.9%	
導入方法				
リース・レンタル				54.1%
買取り				24.6%
その他				17.2%

奈良 ⁵⁾	愛知 ⁶⁾	福井 ⁷⁾	茨城 ⁸⁾	愛媛 ⁹⁾	栃木 ¹⁰⁾
昭59. 11 コンピュータのみ 436/1496 (29.1%)	昭59. 11~12 OA機器 571/1000 (57.1%) 消費関連型26.5% 素材型 30.8% 加工組立型42.7%	昭60. 2 コンピュータのみ 341/841 (40.5%)	昭60. 11 OA機器 136/200 (68.0%)	昭61. 1 コンピュータのみ 543/1000 (54.3%)	昭61. 8 OA機器 785/2000 (39.3%)
		55.7%	34.5%	52.1%	43.9%
		11.4%	14.0%	7.4%	15.3%
		7.6%	34.6%	16.2%	10.7%
		10.0%	8.1%	18.0%	15.2%
		15.2%	8.8%	6.3%	14.9%
	3.6%	13.8%	50.7%	18.4%	50.3%
		21.4%	30.1%	17.9%	
	28.3%	14.4%		15.3%	23.9%
	29.8%	20.0%	16.9%	19.5%	
	33.1%	22.9%		16.4%	12.4%
	5.2%	7.6%	2.3%	9.6%	13.4%
45.3%	84.1% (OA機器)	57.2%	(***)	43.1%	68.2% (OA機器)
43.0%	消費関連型88.9%	58.9%		44.9%	65.5%
38.5%	素材型 77.5%	41.0%		27.5%	68.3%
70.4%	加工組立型86.8%	73.1%		55.7%	85.7%
57.1%		73.5%		33.7%	58.0%
43.9%		44.2%		41.2%	73.5%
		17.0%		17.0%	49.6%
	59.0%	34.2%		28.9%	
	70.2%	53.1%		26.5%	78.2%
	88.0%	66.2%		47.2%	
	93.5%	84.6%		69.7%	93.8%
	96.6%	96.2%		75.0%	96.2%
		75.9%		70.4%	67.3%
		23.1%		22.4%	31.3%
		1.0%		7.2%	1.4%

項目	和歌山 ¹⁾	大阪 ²⁾	大阪 ³⁾	山口 ⁴⁾
コンピュータの導入時期				
S60				—
59				} 35.2%
58				
57		} 35.1%		} 30.3%
56				
55				} 23.8%
50~54		38.8%		
45~49		} 21.9%		} 4.1%
~44				
コンピュータ導入目的				
1		オフィス作業の効率化(資料の保管・資料さがし)	事務効率改善	事務処理能力の向上
2		意思決定の支援	業務効率改善	販売管理面の充実整備
3		情報の質の向上	計画面での情報活用	財務管理の容易化
コンピュータ導入の具体的効果				
1		事務処理の正確化迅速化	オフィス作業の迅速化・正確化	事務処理能力の向上
2		企業のイメージアップ	オフィスシステムの標準化が進展	販売管理面の充実整備
3		経営状況把握の容易化	役に立つ情報提供による業務効率の改善	財務管理の容易化
コンピュータ導入効果				
非常に満足	15.1%	14.6%		5.8%
まあまあ	46.7%	60.3%		58.7%
どちらともいえない	8.7%	21.0%		17.4%
やや不満	15.9%	} 0.9%		7.4%
全く不満	2.9%			0.8%
無回答	10.7%	3.2%		9.9%
適用業務(現在)				
1	顧客管理	販売統計		販売管理
2	給与計算	月次試算		財務・会計
3	日常会計処理	給与計算 在庫検索		給与計算 人事管理
問題点				
1	知識・情報が不足	プログラムの変更困難	OA対象事務の標準化が遅れている	担当者の確保・育成が難しい
2	担当者がいない	自社に合ったプログラムを開発できない	価格がまだ高すぎる	データの入力に人手がかかる

奈良 ⁵⁾	愛知 ⁶⁾	福井 ⁷⁾	茨城 ⁸⁾	愛媛 ⁹⁾	栃木 ¹⁰⁾
— 25.3% 34.3% 23.0% 17.4%		— 20.7% 12.9% 14.0% 8.8% 10.4% 20.2% 9.3% 3.6%		9.4% 15.0% 16.2% 12.0% 7.3% 8.5% 20.9% 10.7%	
		事務処理の迅速化 管理資料の充実 事務処理の正確化	生産・事務管理水準の向上 生産性の向上 単純繰り返し作業の機械化	事務処理の迅速化, 正確化 事務の生産性向上 業績の正確な評価	
43.1% 45.4% 11.5%	業務処理の迅速・正確化 経営状態把握の容易化 省力化 33.3% 44.4% 21.8% 0.5%	経営状態の把握が容易となった 生産性が向上 人員の増加抑制 61.0% 30.8% 3.1% 0.5% 1.0% 3.6%	経営状態の把握が容易となった 生産性が向上 人員の増加抑制 10.3% 61.7% 24.3% 3.7%	事務処理の迅速化, 正確さ 事務の生産性向上 売上の把握が容易になった 11.3% 35.8% 37.3% 11.4% 4.2% —	事務作業のスピードアップ 計数把握の向上 文書作成事務の改善 11.4% 64.1% 24.5%
			販売管理 顧客管理 仕入管理	販売統計 給与計算 売掛金管理	販売管理 給与計算 財務会計
	教育に手間がかかる 使い易いソフトウェアが足りない		担当者の教育訓練が容易でない OA機器を使いこなせない	プログラム開発が不十分 担当者の確保・育成が難しい	プログラムの変更が難しい 担当者の教育訓練が容易でない

項目	和歌山 ¹⁾	大阪 ²⁾	大阪 ³⁾	山口 ⁴⁾
3	OA化できない業務がある	要員の確保・育成がむづかしい	規格の公的統一が遅れている	経費がかかりすぎる
今後のOA化計画				
1	業務内容の見直しと標準化作業			
2	全従業員の意識改革			
3	人材の獲得			

出 所

- 1) 和歌山大学経済学部『和歌山県におけるオフィスオートメーション』昭和61年3月
- 2) 大阪府立産業能率研究所『中小企業のためのOAマニュアル』昭和59年3月
- 3) 大阪商工会議所『大阪におけるオフィスオートメーション実態調査』昭和58年4月
- 4) 山口県商工情報センター『コンピュータ（OA機器）に関する実態調査報告書』昭和60年2月
- 5) 奈良県中小企業情報センター『OA（オフィスオートメーション）機器導入実態調査報告書』昭和60年3月

注

(*) 回答企業数／アンケート票発送数

(**) 事務員数別利用度

～2人	18.3%
3人～5人	33.6%
6人～9人	52.4%
10人～	72.0%

(***) OA機器導入状況

ファクシミリ	80.9%
多機能電話	44.1%
オフィスコンピュータ	51.5%
パーソナルコンピュータ	32.4%
ワードプロセッサ	33.8%

奈良 ⁵⁾	愛知 ⁶⁾	福井 ⁷⁾	茨城 ⁸⁾	愛媛 ⁹⁾	栃木 ¹⁰⁾
	一般社員の利用に無理		経費がかかりすぎる	十分に使いこなせない	作成された資料が十分活用できない
	Cと複数端末器によるインラインネットワーク化 コンピュータの他にファクシミリ、ワープロ等を別に利用 オンラインネットワーク化		OA機器の増設、グレードアップ OA化適用業務の拡充 現状維持		

- 6) 愛知県中小企業総合指導所『OAシステムに関する実態調査』昭和60年3月
- 7) 福井県中小企業情報センター『OA機器導入実態調査』昭和60年3月
- 8) 茨城県中小企業情報センター『県内OA化・情報化への促進に向けて』昭和61年3月
- 9) 愛媛県中小企業情報センター『愛媛県中小企業のコンピュータの利用実態』昭和61年3月
- 10) 栃木県中小企業情報センター『調査報告書——OA機器導入活用実態調査』昭和61年11月

付表 2

A-1 業 種 別 / O A 進展状況 対応表

	1	2	3	4
食 料 品	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
織 維 工 業	0 (0.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (0.0)
被服・その他の繊維製品	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)
木 材・木 製 品・家 具	1 (9.1)	4 (36.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
紙・出 版・印 刷	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
窯 業・土 石 製 品	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
石 油・化 学 工 業	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
鉄鋼・非鉄金属・金属製品	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	0 (0.0)
機 械 器 具	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
そ の 他 の 製 造 業	0 (0.0)	3 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
食 料 品	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
織 維	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
木 材・木 製 品・家 具	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)
鉄鋼・金属・機械器具	0 (0.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
そ の 他 の 卸 売 業	2 (6.1)	5 (15.2)	1 (3.0)	0 (0.0)
小 売 業	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (12.5)	0 (0.0)
不 動 産	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
金 融	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
サ - ビ ス 業	0 (0.0)	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
建 築	0 (0.0)	3 (33.3)	2 (22.2)	0 (0.0)
土 木	1 (5.9)	6 (35.3)	2 (11.8)	0 (0.0)
運 輸	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
そ の 他	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (0.0)
無 記 入	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	7 (3.2)	31 (14.2)	13 (6.0)	0 (0.0)

O A 進展状況

- 1) 必要がないので実施していない
- 2) 必要はあると思うが現在は実施できないでいる
- 3) 近い将来実施する予定であり、検討中である
- 4) 自社内のO Aは考えず、社外の情報処理会社に委託している

括弧内=%

5	6	7	合 計
4 (57.1)	3 (42.9)	0 (0.0)	7 (3.2)
9 (75.0)	1 (8.3)	0 (0.0)	12 (5.5)
0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2 (0.9)
4 (36.4)	2 (18.2)	0 (0.0)	11 (5.0)
0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (0.5)
3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.8)
7 (58.3)	4 (33.3)	0 (0.0)	12 (5.5)
5 (83.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (2.8)
5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (2.3)
8 (53.3)	4 (26.7)	0 (0.0)	15 (6.9)
7 (63.6)	3 (27.3)	0 (0.0)	11 (5.0)
1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.9)
1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.4)
4 (66.7)	1 (16.7)	0 (0.0)	6 (2.8)
16 (48.5)	9 (27.3)	0 (0.0)	33 (15.1)
11 (45.8)	10 (41.7)	0 (0.0)	24 (11.0)
1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)
4 (66.7)	2 (33.3)	0 (0.0)	6 (2.8)
5 (55.6)	3 (33.3)	0 (0.0)	9 (4.1)
4 (44.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (4.1)
8 (47.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (7.8)
1 (20.0)	3 (60.0)	0 (0.0)	5 (2.3)
6 (54.5)	2 (18.2)	0 (0.0)	11 (5.0)
3 (50.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	6 (2.8)
117 (53.7)	49 (22.5)	1 (0.5)	218 (100.0)

5) 一部の業務または部門につき実施している

6) 本格的に取り組んでいる

7) 無 回 答

A-2 従業員規模別/OA進展状況 対応表

	1	2	3	4
～ 10人未満	1 (7.7)	2 (15.4)	3 (23.1)	0 (0.0)
10人以上～ 20人未満	1 (2.3)	15 (34.1)	1 (2.3)	0 (0.0)
20人以上～ 30人未満	1 (3.0)	5 (15.2)	3 (9.1)	0 (0.0)
30人以上～ 50人未満	2 (5.4)	3 (8.1)	4 (10.8)	0 (0.0)
50人以上～100人未満	1 (2.2)	4 (8.9)	1 (2.2)	0 (0.0)
100人以上～300人未満	0 (0.0)	1 (3.1)	1 (3.1)	0 (0.0)
300人以上～	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無 記 入	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	7 (3.2)	31 (14.2)	13 (6.0)	0 (0.0)

OA進展状況

- 1) 必要がないので実施していない
- 2) 必要はあると思うが現在は実施できないでいる
- 3) 近い将来実施する予定であり、検討中である
- 4) 自社内のOAは考えず、社外の情報処理会社に委託している

A-3 地域別/OA進展状況 対応表

	1	2	3	4
和歌山市	3 (2.6)	14 (12.1)	5 (4.3)	0 (0.0)
橋本市	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
海南市	2 (10.5)	3 (15.8)	2 (10.5)	0 (0.0)
有田市	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)
御坊市	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
田辺市	1 (5.6)	2 (11.1)	3 (16.7)	0 (0.0)
新宮市	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
那賀郡	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)
伊都郡	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
海草郡	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
有田郡	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
日高郡	0 (0.0)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (0.0)
西牟婁郡	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
東牟婁郡	0 (0.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無 記 入	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	7 (3.2)	31 (14.2)	13 (6.0)	0 (0.0)

OA進展状況

- 1) 必要がないので実施していない
- 2) 必要はあると思うが現在は実施できないでいる
- 3) 近い将来実施する予定であり、検討中である
- 4) 自社内のOAは考えず、社外の情報処理会社に委託している

括弧内=%

5	6	7	合 計
5 (38.5)	2 (15.4)	0 (0.0)	13 (6.0)
21 (47.7)	6 (13.6)	0 (0.0)	44 (20.2)
19 (57.6)	5 (15.2)	0 (0.0)	33 (15.1)
21 (56.8)	7 (18.9)	0 (0.0)	37 (17.0)
25 (55.6)	14 (31.1)	0 (0.0)	45 (20.6)
19 (59.4)	11 (34.4)	0 (0.0)	32 (14.7)
2 (33.3)	4 (66.7)	0 (0.0)	6 (2.8)
5 (62.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	8 (3.7)
117 (53.7)	49 (22.5)	1 (0.5)	218 (100.0)

- 5) 一部の業務または部門につき実施している
 6) 本格的に取り組んでいる
 7) 無 回 答

括弧内=%

5	6	7	合 計
63 (54.3)	31 (26.7)	0 (0.0)	116 (53.2)
3 (60.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	5 (2.3)
5 (26.3)	7 (36.8)	0 (0.0)	19 (8.7)
1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.4)
3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.4)
7 (38.9)	5 (27.8)	0 (0.0)	18 (8.3)
3 (60.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	5 (2.3)
5 (62.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	8 (3.7)
7 (77.8)	2 (22.2)	0 (0.0)	9 (4.1)
3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.8)
6 (75.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	8 (3.7)
4 (57.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (3.2)
1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.9)
3 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (2.3)
3 (50.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	6 (2.8)
117 (53.7)	49 (22.5)	1 (0.5)	218 (100.0)

- 5) 一部の業務または部門につき実施している
 6) 本格的に取り組んでいる
 7) 無 回 答

B-1 業種別/OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由 対応表

	1	2	3	4	5	6
食料品	0(0.0)	3(42.9)	0(0.0)	3(42.9)	0(0.0)	0(0.0)
繊維工業	2(16.7)	1(8.3)	5(41.7)	5(41.7)	0(0.0)	2(16.7)
被服・その他の繊維製品	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)
木材・木製品・家具	3(27.3)	1(9.1)	4(36.4)	4(36.4)	1(9.1)	0(0.0)
紙・出版・印刷	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
窯業・土石製品	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)	2(50.0)
石油・化学工業	2(16.7)	0(0.0)	3(25.0)	5(41.7)	0(0.0)	1(8.3)
鉄鋼・非鉄金属・金属製品	1(16.7)	0(0.0)	3(50.0)	3(50.0)	0(0.0)	3(50.0)
機械器具	0(0.0)	2(40.0)	1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	1(20.0)
その他の製造業	3(20.0)	4(26.7)	5(33.3)	9(60.0)	1(6.7)	3(20.0)
食料品	3(27.3)	1(9.1)	4(36.4)	5(45.5)	0(0.0)	4(36.4)
繊維	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
木材・木製品・家具	1(33.3)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	3(100.0)
鉄鋼・金属・機械器具	0(0.0)	1(16.7)	2(33.3)	4(66.7)	0(0.0)	2(33.3)
その他の卸売業	2(6.1)	2(6.1)	12(36.4)	17(51.5)	0(0.0)	3(9.1)
小売業	3(12.5)	2(8.3)	6(25.0)	13(54.2)	0(0.0)	7(29.2)
不動産	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
金融	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)	0(0.0)	1(16.7)
サービス業	0(0.0)	0(0.0)	2(22.2)	6(66.7)	0(0.0)	1(11.1)
建築	1(11.1)	3(33.3)	6(66.7)	5(55.6)	0(0.0)	1(11.1)
土木	3(17.6)	1(5.9)	3(17.6)	8(47.1)	0(0.0)	2(11.8)
運輸	0(0.0)	1(20.0)	2(40.0)	4(80.0)	1(20.0)	2(40.0)
その他	0(0.0)	1(9.1)	4(36.4)	7(63.6)	0(0.0)	0(0.0)
無記入	1(16.7)	0(0.0)	1(16.7)	2(33.3)	0(0.0)	0(0.0)
	25(11.5)	27(12.4)	66(30.3)	110(50.5)	3(1.4)	38(17.4)

OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由

- 1) 情報の入手先が分からない
- 2) 近くに相談所がないので不便である
- 3) 費用がかかりすぎる
- 4) 情報は多いが自社のニーズに合った情報がない
- 5) 情報が古くて役に立たない
- 6) 片寄らない公平な情報がない

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合計
2(28.6)	2(28.6)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)	2(28.6)	7(3.2)
4(33.3)	5(41.7)	3(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(16.7)	12(5.5)
0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	2(0.9)
1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	2(18.2)	0(0.0)	4(36.4)	11(5.0)
1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
0(0.0)	2(50.0)	2(50.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(1.8)
6(50.0)	2(16.7)	2(16.7)	0(0.0)	1(8.3)	2(16.7)	12(5.5)
2(33.3)	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	1(16.7)	6(2.8)
1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
3(20.0)	2(13.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	15(6.9)
1(9.1)	2(18.2)	4(36.4)	3(27.3)	0(0.0)	1(9.1)	11(5.0)
1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
3(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(16.7)	6(2.8)
8(24.2)	8(24.2)	6(18.2)	7(21.2)	1(3.0)	7(21.2)	33(15.1)
7(29.2)	4(16.7)	0(0.0)	4(16.7)	0(0.0)	7(29.2)	24(11.0)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(50.0)	6(2.8)
1(11.1)	2(22.2)	0(0.0)	1(11.1)	0(0.0)	2(22.2)	9(4.1)
1(11.1)	4(44.4)	2(22.2)	3(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	9(4.1)
3(17.6)	6(35.3)	4(23.5)	5(29.4)	0(0.0)	2(11.8)	17(7.8)
0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	3(27.3)	11(5.0)
0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	6(2.8)
48(22.0)	44(20.2)	30(13.8)	32(14.7)	4(1.8)	44(20.2)	218(100.0)

7) 情報が多すぎてどれが適当なのかわからない

8) 忙しくてそこまで手が回らない

9) 内容が難しく理解できない

10) 技術の進歩が速くて追いつかない

11) その他

12) 無回答

B-2 従業員規模別/OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由 対応表

	1	2	3	4	5	6
～ 10人未満	0(0.0)	4(30.8)	2(15.4)	6(46.2)	0(0.0)	4(30.8)
10人以上～ 20人未満	7(15.9)	4(9.1)	17(38.6)	21(47.7)	0(0.0)	7(15.9)
20人以上～ 30人未満	5(15.2)	2(6.1)	9(27.3)	15(45.5)	0(0.0)	7(21.2)
30人以上～ 50人未満	7(18.9)	8(21.6)	15(40.5)	21(56.8)	0(0.0)	4(10.8)
50人以上～100人未満	4(8.9)	4(8.9)	9(20.0)	22(48.9)	3(6.7)	7(15.6)
100人以上～300人未満	0(0.0)	2(6.3)	11(34.4)	18(56.3)	0(0.0)	7(21.9)
300人以上～	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)	4(66.7)	0(0.0)	2(33.3)
無 記 入	2(25.0)	1(12.5)	2(25.0)	3(37.5)	0(0.0)	0(0.0)
	25(11.5)	27(12.4)	66(30.3)	110(50.5)	3(1.4)	38(17.4)

OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1) 情報の入手先が分からない | 4) 情報は多いが自社のニーズに合った情報がない |
| 2) 近くに相談所がないので不便である | 5) 情報が古くて役に立たない |
| 3) 費用がかかりすぎる | 6) 片寄らない公平な情報がない |

B-3 地域別/OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由 対応表

	1	2	3	4	5	6
和 歌 山 市	9(7.8)	11(9.5)	36(31.0)	62(53.4)	2(1.7)	20(17.2)
橋 本 市	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)
海 南 市	2(10.5)	6(31.6)	3(15.8)	10(52.6)	1(5.3)	5(26.3)
有 田 市	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
御 坊 市	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)
田 辺 市	4(22.2)	4(22.2)	3(16.7)	11(61.1)	0(0.0)	2(11.1)
新 宮 市	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)
那 賀 郡	1(12.5)	0(0.0)	2(25.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)
伊 都 郡	1(11.1)	1(11.1)	4(44.4)	5(55.6)	0(0.0)	1(11.1)
海 草 郡	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	3(75.0)	0(0.0)	1(25.0)
有 田 郡	1(12.5)	1(12.5)	3(37.5)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)
日 高 郡	0(0.0)	1(14.3)	3(42.9)	4(57.1)	0(0.0)	4(57.1)
西 牟 婁 郡	1(50.0)	0(0.0)	1(50.0)	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
東 牟 婁 郡	2(40.0)	2(40.0)	3(60.0)	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)
無 記 入	1(16.7)	0(0.0)	1(16.7)	2(33.3)	0(0.0)	0(0.0)
	25(11.5)	27(12.4)	66(30.3)	110(50.5)	3(1.4)	38(17.4)

OA化を進めていくための情報・知識の不足の理由

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1) 情報の入手先が分からない | 4) 情報は多いが自社のニーズに合った情報がない |
| 2) 近くに相談所がないので不便である | 5) 情報が古くて役に立たない |
| 3) 費用がかかりすぎる | 6) 片寄らない公平な情報がない |

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
2(15.4)	3(23.1)	2(15.4)	3(23.1)	0(0.0)	3(23.1)	13(6.0)
12(27.3)	11(25.0)	7(15.9)	9(20.5)	1(2.3)	9(20.5)	44(20.2)
6(18.2)	7(21.2)	5(15.2)	6(18.2)	0(0.0)	4(12.1)	33(15.1)
8(21.6)	12(32.4)	7(18.9)	6(16.2)	1(2.7)	3(8.1)	37(17.0)
10(22.2)	6(13.3)	6(13.3)	4(8.9)	1(2.2)	14(31.1)	45(20.6)
7(21.9)	3(9.4)	3(9.4)	4(12.5)	1(3.1)	8(25.0)	32(14.7)
3(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(16.7)	6(2.8)
0(0.0)	2(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)	8(3.7)
48(22.0)	44(20.2)	30(13.8)	32(14.7)	4(1.8)	44(20.2)	218(100.0)

7) 情報が多すぎてどれが適当なのか分からない

8) 忙しくてそこまで手が回らない

9) 内容が難しくて理解できない

10) 技術の進歩が速くて追いつかない

11) そ の 他

12) 無 回 答

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
31(26.7)	19(16.4)	15(12.9)	16(13.8)	2(1.7)	22(19.0)	116(53.2)
1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
4(21.1)	4(21.1)	3(15.8)	3(15.8)	0(0.0)	4(21.1)	19(8.7)
1(33.3)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
2(66.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	3(1.4)
3(16.7)	3(16.7)	2(11.1)	5(27.8)	1(5.6)	4(22.2)	18(8.3)
1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
2(25.0)	0(0.0)	1(12.5)	1(12.5)	1(12.5)	3(37.5)	8(3.7)
1(11.1)	3(33.3)	2(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(33.3)	9(4.1)
0(0.0)	3(75.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	4(1.8)
0(0.0)	4(50.0)	2(25.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)	8(3.7)
1(14.3)	2(28.6)	2(28.6)	2(28.6)	0(0.0)	0(0.0)	7(3.2)
1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
0(0.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(2.3)
0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	6(2.8)
48(22.0)	44(20.2)	30(13.8)	32(14.7)	4(1.8)	44(20.2)	218(100.0)

7) 情報が多すぎてどれが適当なのか分からない

8) 忙しくてそこまで手が回らない

9) 内容が難しくて理解できない

10) 技術の進歩が速くて追いつかない

11) そ の 他

12) 無 回 答

C-1 業種別/OA教育の問題点 対応表

	1	2	3	4	5	6
食料品	0(0.0)	1(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)
繊維工業	4(33.3)	2(16.7)	3(25.0)	1(8.3)	1(8.3)	2(16.7)
被服・その他の繊維製品	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
木材・木製品・家具	1(9.1)	2(18.2)	1(9.1)	3(27.3)	2(18.2)	1(9.1)
紙・出版・印刷	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
窯業・土石製品	2(50.0)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(75.0)	0(0.0)
石油・化学工業	1(8.3)	6(50.0)	2(16.7)	0(0.0)	2(16.7)	3(25.0)
鉄鋼・非鉄金属・金属製品	2(33.3)	0(0.0)	1(16.7)	1(16.7)	2(33.3)	0(0.0)
機械器具	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)
その他の製造業	2(13.3)	10(66.7)	4(26.7)	3(20.0)	0(0.0)	6(40.0)
食料品	5(45.5)	3(27.3)	4(36.4)	2(18.2)	3(27.3)	0(0.0)
繊維	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
木材・木製品・家具	1(33.3)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)
鉄鋼・金属・機械器具	1(16.7)	4(66.7)	2(33.3)	1(16.7)	2(33.3)	1(16.7)
その他の卸売業	8(24.2)	15(45.5)	4(12.1)	7(21.2)	6(18.2)	1(3.0)
小売業	6(25.0)	9(37.5)	6(25.0)	3(12.5)	4(16.7)	3(12.5)
不動産	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
金融	0(0.0)	3(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)
サービス業	5(55.6)	4(44.4)	2(22.2)	0(0.0)	2(22.2)	1(11.1)
建築	5(55.6)	3(33.3)	5(55.6)	5(55.6)	2(22.2)	2(22.2)
土木	3(17.6)	8(47.1)	3(17.6)	3(17.6)	4(23.5)	1(5.9)
運輸	2(40.0)	3(60.0)	2(40.0)	0(0.0)	1(20.0)	1(20.0)
その他	3(27.3)	1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	0(0.0)	1(9.1)
無記入	0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	53(24.3)	81(37.2)	40(18.3)	32(14.7)	35(16.1)	30(13.8)

OA教育の問題点

- 1) 現社員のなかに適当な人がいない
- 2) 社員教育をする時間がない
- 3) 社員教育をする場所と施設がない
- 4) 社員教育の費用が負担である
- 5) 従業員が教育を受けたがらない
- 6) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は期間が短すぎる

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
0(0.0)	1(14.3)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)	4(57.1)	7(3.2)
3(25.0)	10(83.3)	0(0.0)	2(16.7)	0(0.0)	1(8.3)	12(5.5)
0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
1(9.1)	4(36.4)	1(9.1)	1(9.1)	0(0.0)	4(36.4)	11(5.0)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
0(0.0)	3(75.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(1.8)
2(16.7)	3(25.0)	1(8.3)	5(41.7)	2(16.7)	4(33.3)	12(5.5)
2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	2(33.3)	0(0.0)	2(33.3)	6(2.8)
0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
0(0.0)	4(26.7)	1(6.7)	3(20.0)	0(0.0)	3(20.0)	15(6.9)
4(36.4)	5(45.5)	1(9.1)	3(27.3)	0(0.0)	1(9.1)	11(5.0)
0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
0(0.0)	4(66.7)	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)	1(16.7)	6(2.8)
4(12.1)	11(33.3)	3(9.1)	7(21.2)	1(3.0)	7(21.2)	33(15.1)
4(16.7)	7(29.2)	1(4.2)	6(25.0)	2(8.3)	4(16.7)	24(11.0)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)	1(16.7)	6(2.8)
0(0.0)	3(33.3)	0(0.0)	3(33.3)	0(0.0)	1(11.1)	9(4.1)
1(11.1)	4(44.4)	1(11.1)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	9(4.1)
1(5.9)	7(41.2)	2(11.8)	2(11.8)	0(0.0)	4(23.5)	17(7.8)
2(40.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
0(0.0)	3(27.3)	1(9.1)	2(18.2)	0(0.0)	5(45.5)	11(5.0)
1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)	2(33.3)	6(2.8)
25(11.5)	78(35.8)	16(7.3)	51(23.4)	6(2.8)	47(21.6)	218(100.0)

- 7) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は費用が高すぎる
 8) 自分が勉強したいと思っているが、忙しくて時間がない
 9) 自分が勉強したいと思っているが、今さら新しいことについていけない
 10) もっと効果的な教育方法がないかと悩んでいる
 11) そ の 他
 12) 無 回 答

C-2 従業員規模別/OA教育の問題点 対応表

	1	2	3	4	5	6
～ 10人未満	1(7.7)	5(38.5)	3(23.1)	2(15.4)	3(23.1)	2(15.4)
10人以上～ 20人未満	16(36.4)	17(38.6)	10(22.7)	12(27.3)	11(25.0)	2(4.5)
20人以上～ 30人未満	7(21.2)	15(45.5)	4(12.1)	4(12.1)	4(12.1)	1(3.0)
30人以上～ 50人未満	11(29.7)	11(29.7)	9(24.3)	4(10.8)	6(16.2)	3(8.1)
50人以上～100人未満	10(22.2)	19(42.2)	7(15.6)	5(11.1)	8(17.8)	11(24.4)
100人以上～300人未満	8(25.0)	9(28.1)	6(18.8)	4(12.5)	1(3.1)	8(25.0)
300人以上～	0(0.0)	3(50.0)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	2(33.3)
無 記 入	0(0.0)	2(25.0)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)
	53(24.3)	81(37.2)	40(18.3)	32(14.7)	35(16.1)	30(13.8)

OA教育の問題点

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1) 現社員のなかに適当な人がいない | 5) 従業員が教育を受けたがらない |
| 2) 社員教育をする時間がない | 6) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は期間が短すぎる |
| 3) 社員教育をする場所と施設がない | |
| 4) 社員教育の費用が負担である | |

C-3 地域別/OA教育の問題点 対応表

	1	2	3	4	5	6
和 歌 山 市	29(25.0)	45(38.8)	23(19.8)	17(14.7)	20(17.2)	17(14.7)
橋 本 市	1(20.0)	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)
海 南 市	5(26.3)	7(36.8)	3(15.8)	4(21.1)	1(5.3)	4(21.1)
有 田 市	1(33.3)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)
御 坊 市	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)
田 辺 市	4(22.2)	6(33.3)	4(22.2)	3(16.7)	3(16.7)	4(22.2)
新 宮 市	0(0.0)	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
那 賀 郡	3(37.5)	3(37.5)	3(37.5)	1(12.5)	1(12.5)	1(12.5)
伊 都 郡	2(22.2)	3(33.3)	1(11.1)	1(11.1)	2(22.2)	0(0.0)
海 草 郡	4(100.0)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)
有 田 郡	1(12.5)	4(50.0)	2(25.0)	1(12.5)	3(37.5)	1(12.5)
日 高 郡	3(42.9)	2(28.6)	0(0.0)	1(14.3)	2(28.6)	1(14.3)
西 牟 婁 郡	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
東 牟 婁 郡	0(0.0)	1(20.0)	1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	2(40.0)
無 記 入	0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	53(24.3)	81(37.2)	40(18.3)	32(14.7)	35(16.1)	30(13.8)

OA教育の問題点

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1) 現社員のなかに適当な人がいない | 5) 従業員が教育を受けたがらない |
| 2) 社員教育をする時間がない | 6) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は期間が短すぎる |
| 3) 社員教育をする場所と施設がない | |
| 4) 社員教育の費用が負担である | |

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合計
0(0.0)	9(69.2)	2(15.4)	4(30.8)	0(0.0)	2(15.4)	13(6.0)
3(6.8)	14(31.8)	4(9.1)	7(15.9)	1(2.3)	12(27.3)	44(20.2)
2(6.1)	15(45.5)	4(12.1)	6(18.2)	2(6.1)	4(12.1)	33(15.1)
4(10.8)	15(40.5)	3(8.1)	9(24.3)	0(0.0)	8(21.6)	37(17.0)
5(11.1)	14(31.1)	2(4.4)	13(28.9)	1(2.2)	8(17.8)	45(20.6)
8(25.0)	8(25.0)	1(3.1)	5(15.6)	1(3.1)	11(34.4)	32(14.7)
1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	5(83.3)	0(0*0)	0(0.0)	6(2.8)
2(25.0)	2(25.0)	0(0.0)	2(25.0)	1(12.5)	2(25.0)	8(3.7)
25(11.5)	78(35.8)	16(7.3)	51(23.4)	6(2.8)	47(21.6)	218(100.0)

- 7) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は費用が高すぎる
 8) 自分が勉強したいと思っているが、忙しくて時間がない
 9) 自分が勉強したいと思っているが、今さら新しいことについていけない
 10) もっと効果的な教育方法がないかと悩んでいる
 11) その他
 12) 無回答

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合計
20(17.2)	39(33.6)	9(7.8)	38(32.8)	3(2.6)	22(19.0)	116(53.2)
0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
2(10.5)	8(42.1)	1(5.3)	2(10.5)	0(0.0)	3(15.8)	19(8.7)
0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	3(1.4)
0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
1(5.6)	6(33.3)	2(11.1)	4(22.2)	0(0.0)	4(22.2)	18(8.3)
0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	3(60.0)	5(2.3)
0(0.0)	3(37.5)	0(0.0)	2(25.0)	0(0.0)	3(37.5)	8(3.7)
1(11.1)	6(66.7)	0(0.0)	1(11.1)	0(0.0)	2(22.2)	9(4.1)
0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(1.8)
0(0.0)	4(50.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)	1(12.5)	8(3.7)
0(0.0)	3(42.9)	3(42.9)	1(14.3)	0(0.0)	1(14.3)	7(3.2)
0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	2(0.9)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)	2(33.3)	6(2.8)
25(11.5)	78(35.8)	16(7.3)	51(23.4)	6(2.8)	47(21.6)	218(100.0)

- 7) OA機器メーカー（ディーラー）の研修会は費用が高すぎる
 8) 自分が勉強したいと思っているが、忙しくて時間がない
 9) 自分が勉強したいと思っているが、今さら新しいことについていけない
 10) もっと効果的な教育方法がないかと悩んでいる
 11) その他
 12) 無回答

D-1 業種別/OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策 対応表

	1	2	3	4	5	6
食料品	3(42.9)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)	3(42.9)	0(0.0)
繊維工業	3(25.0)	4(33.3)	1(8.3)	3(25.0)	3(25.0)	2(16.7)
被服・その他の繊維製品	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	2(100.0)
木材・木製品・家具	3(27.3)	2(18.2)	4(36.4)	1(9.1)	2(18.2)	2(18.2)
紙・出版・印刷	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
窯業・土石製品	3(75.0)	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)
石油・化学工業	7(58.3)	1(8.3)	1(8.3)	2(16.7)	4(33.3)	3(25.0)
鉄鋼・非鉄金属・金属製品	0(0.0)	2(33.3)	3(50.0)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)
機械器具	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)	2(40.0)	2(40.0)
その他の製造業	6(40.0)	4(26.7)	1(6.7)	2(13.3)	4(26.7)	4(26.7)
食料品	4(36.4)	4(36.4)	2(18.2)	2(18.2)	2(18.2)	2(19.2)
繊維	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)
木材・木製品・家具	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)
鉄鋼・金属・機械器具	3(50.0)	3(50.0)	0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)
その他の卸売業	15(45.5)	5(15.2)	6(18.2)	5(15.2)	9(27.3)	2(6.1)
小売業	12(50.0)	3(12.5)	3(12.5)	5(20.8)	8(33.3)	4(16.7)
不動産	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
金融	3(50.0)	0(0.0)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	1(16.7)
サービス業	4(44.4)	2(22.2)	3(33.3)	0(0.0)	1(11.1)	1(11.1)
建築	5(55.6)	2(22.2)	2(22.2)	2(22.2)	1(11.1)	1(11.1)
土木	6(35.3)	2(11.8)	6(35.3)	2(11.8)	6(35.3)	2(11.8)
運輸	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)
その他	2(18.2)	1(9.1)	3(27.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
無記入	1(16.7)	2(33.3)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)
	87(39.9)	40(18.3)	42(19.3)	32(14.7)	52(23.9)	33(15.1)

OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策

- 1) 少し無理をしてもやはり社員教育には力をいれたい
- 2) 当社にとって現状が精一杯である
- 3) 当社の規模を考えるとOA教育は当分不要である
- 4) もう少し安い教育機関がほしい
- 5) もう少し近くに教育機関がほしい
- 6) 夜間の教育機関がほしい

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
0(0.0)	2(28.6)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)	1(14.3)	7) 3.2)
2(16.7)	3(25.0)	2(16.7)	1(8.3)	0(0.0)	2(16.7)	12(5.5)
1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
0(0.0)	1(9.1)	0(0.0)	1(9.1)	0(0.0)	3(27.3)	11(5.0)
0(0.0)	1(100.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(1.8)
1(8.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)	0(0.0)	2(16.7)	12(5.5)
0(0.0)	1(16.7)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	1(16.7)	6(2.8)
1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
3(20.0)	5(33.3)	5(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(13.3)	15(6.9)
1(9.1)	1(9.1)	0(0.0)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	11(5.0)
0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.9)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
0(0.0)	3(50.0)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(2.8)
2(6.1)	8(24.2)	5(15.2)	3(9.1)	0(0.0)	4(12.1)	33(15.1)
1(4.2)	6(25.0)	5(20.8)	2(8.3)	0(0.0)	3(12.5)	24(11.0)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)
0(0.0)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(2.8)
2(22.2)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(11.1)	9(4.1)
1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(4.1)
2(11.8)	2(11.8)	2(11.8)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	17(7.8)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
1(9.1)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(45.5)	11(5.0)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	6(2.8)
18(8.3)	38(17.4)	37(12.4)	11(5.0)	1(0.5)	30(13.8)	218(100.0)

- 7) 通信教育機関がほしい
8) OA教育を受けた新卒者を多く送り出してほしい
9) OA技術者の人材センターを設置してほしい
10) 都会で働いているユーターン希望者を紹介してほしい
11) その他
12) 無回答

D-2 従業員規模別/OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策 対応表

	1	2	3	4	5	6
～10人未満	4(30.8)	2(15.4)	2(15.4)	1(7.7)	3(23.1)	4(30.8)
10人以上～20人未満	11(25.0)	12(27.3)	10(22.7)	8(18.2)	9(20.5)	3(6.8)
20人以上～30人未満	15(45.5)	5(15.2)	8(24.2)	3(9.1)	6(18.2)	3(9.1)
30人以上～50人未満	15(40.5)	8(21.6)	11(29.7)	4(10.8)	8(21.6)	5(13.5)
50人以上～100未満人	23(51.1)	7(15.6)	6(13.3)	4(8.9)	11(24.4)	7(15.6)
100人以上～300人未満	15(46.9)	3(9.4)	3(9.4)	10(31.3)	7(21.9)	7(21.9)
300人以上～	2(33.3)	1(16.7)	0(0.0)	1(16.7)	5(83.3)	3(50.0)
無記入	2(25.0)	2(25.0)	2(25.0)	1(12.5)	3(37.5)	1(12.5)
	87(39.9)	40(18.3)	42(19.3)	32(14.7)	52(23.9)	33(15.1)

OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策

- 1) 少し無理をしてもやはり社員教育には力をいれたい
- 2) 当社にとって現状が精一杯である
- 3) 当社の規模を考えるとOA教育は当分不要である
- 4) もう少し安い教育機関がほしい
- 5) もう少し近くに教育機関がほしい
- 6) 夜間の教育機関がほしい

D-3 地域別/OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策 対応表

	1	2	3	4	5	6
和歌山市	58(50.0)	18(15.5)	18(15.5)	22(19.0)	21(18.1)	18(15.5)
橋本市	1(20.0)	1(20.0)	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)
海南市	4(21.1)	3(15.8)	5(26.3)	4(21.1)	4(21.1)	3(15.8)
有田市	2(66.7)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)
御坊市	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	2(66.7)
田辺市	10(55.6)	3(16.7)	4(22.2)	3(16.7)	9(50.0)	3(16.7)
新宮市	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	1(20.0)
那賀郡	2(25.0)	1(12.5)	3(37.5)	0(0.0)	3(37.5)	1(12.5)
伊都郡	0(0.0)	3(33.3)	2(22.2)	1(11.1)	2(22.2)	0(0.0)
海草郡	1(25.0)	1(25.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
有田郡	3(37.5)	2(25.0)	1(12.5)	0(0.0)	2(25.0)	1(12.5)
日高郡	3(42.9)	1(14.3)	3(42.9)	0(0.0)	2(28.6)	1(14.3)
西牟婁郡	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
東牟婁郡	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(60.0)	1(20.0)
無記入	1(16.7)	2(33.3)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)
	87(39.9)	40(18.3)	42(19.3)	32(14.7)	52(23.9)	33(15.1)

OA教育, OA要員の確保に関する今後の対策

- 1) 少し無理をしてもやはり社員教育には力をいれたい
- 2) 当社にとって現状が精一杯である
- 3) 当社の規模を考えるとOA教育は当分不要である
- 4) もう少し安い教育機関がほしい
- 5) もう少し近くに教育機関がほしい
- 6) 夜間の教育機関がほしい

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
0(0.0)	1(7.7)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.7)	13(6.0)
3(6.8)	7(15.9)	7(15.9)	4(9.1)	0(0.0)	10(22.7)	44(20.2)
4(12.1)	4(12.1)	4(12.1)	1(3.0)	0(0.0)	4(12.1)	33(15.1)
5(13.5)	4(10.8)	4(10.8)	1(2.7)	0(0.0)	3(8.1)	37(17.0)
5(11.1)	10(22.2)	6(13.3)	3(6.7)	1(2.2)	5(11.1)	45(20.6)
1(3.1)	10(31.3)	4(12.5)	1(3.1)	0(0.0)	5(15.6)	32(14.7)
0(0.0)	1(16.7)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	6(2.8)
0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)	8(3.7)
18(8.3)	38(17.4)	27(12.4)	11(5.0)	1(0.5)	30(13.8)	218(100.0)

- 7) 通信教育機関がほしい
 8) OA教育を受けた新卒者を多く送り出してほしい
 9) OA技術者の人材センターを設置してほしい
 10) 都会で働いているユーターン希望者を紹介してほしい
 11) そ の 他
 12) 無 回 答

括弧内=%

7	8	9	10	11	12	合 計
9(7.8)	28(24.1)	17(14.7)	6(5.2)	1(0.9)	14(12.1)	116(53.2)
1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
2(10.5)	2(10.5)	3(15.8)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.5)	19(8.7)
1(33.3)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.4)
1(5.6)	4(22.2)	4(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)	18(8.3)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(40.0)	5(2.3)
1(12.5)	1(12.5)	1(12.5)	2(25.0)	0(0.0)	1(12.5)	8(3.7)
0(0.0)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(22.2)	9(4.1)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	4(1.8)
1(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(3.7)
1(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)	0(0.0)	1(14.3)	7(3.2)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	2(0.9)
1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	5(2.3)
0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	6(2.8)
18(8.3)	38(17.4)	27(12.4)	11(5.0)	1(0.5)	30(13.8)	218(100.0)

- 7) 通信教育機関がほしい
 8) OA教育を受けた新卒者を多く送り出してほしい
 9) OA技術者の人材センターを設置してほしい
 10) 都会で働いているユーターン希望者を紹介してほしい
 11) そ の 他
 12) 無 回 答

付表3

質問番号： 2 「OA機器のメーカーに関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	15	8.2				8.2
それほど必要としていない	53	28.8				37.0
あれば望ましい	78	42.4				79.3
かなり欲しい	29	15.8				95.1
ぜひとも欲しい	9	4.9				100.0
合計	184	100.0				

質問番号： 3 「OA機器の機能に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	11	5.6				5.6
それほど必要としていない	28	14.3				19.9
あれば望ましい	86	43.9				63.8
かなり欲しい	48	24.5				88.3
ぜひとも欲しい	23	11.7				100.0
合計	196	100.0				

質問番号： 4 「OA機器の価格に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	11	5.9				5.9
それほど必要としていない	29	15.4				21.3
あれば望ましい	82	43.6				64.9
かなり欲しい	41	21.8				86.7
ぜひとも欲しい	25	13.3				100.0
合計	188	100.0				

質問番号： 5 「OA機器の新製品に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	9	4.8				4.8
それほど必要としていない	27	14.3				19.0
あれば望ましい	75	39.7				58.7
かなり欲しい	48	25.4				84.1
ぜひとも欲しい	30	15.9				100.0
合計	189	100.0				

質問番号： 6 「OA機器の比較・選定の情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	13	6.9				6.9
それほど必要としていない	20	10.6				17.5
あれば望ましい	65	34.4				51.9
かなり欲しい	61	32.3				84.1
ぜひとも欲しい	30	15.9				100.0
合計	189	100.0				

質問番号： 8 「プログラミング言語の知識」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	19	10.1				10.1
それほど必要としていない	40	21.3				31.4
あれば望ましい	83	44.1				75.5
かなり欲しい	26	13.8				89.4
ぜひとも欲しい	20	10.6				100.0
合計	188	100.0				

質問番号： 9 「プログラミング開発業者の情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	17	9.0				9.0
それほど必要としていない	43	22.9				31.9
あれば望ましい	80	42.6				74.5
かなり欲しい	30	16.0				90.4
ぜひとも欲しい	18	9.6				100.0
合計	188	100.0				

質問番号： 10 「応用プログラムの妥当な価格」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	18	9.4				9.4
それほど必要としていない	29	15.1				24.5
あれば望ましい	81	42.2				66.7
かなり欲しい	45	23.4				90.1
ぜひとも欲しい	19	9.9				100.0
合計	192	100.0				

質問番号： 11 「業種別ニーズ別のSPの情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	21	10.8				10.8
それほど必要としていない	35	17.9				28.7
あれば望ましい	74	37.9				66.7
かなり欲しい	37	19.0				85.6
ぜひとも欲しい	28	14.4				100.0
合計	195	100.0				

質問番号： 12 「SPの比較・選定に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	21	11.1				11.1
それほど必要としていない	32	16.8				27.9
あれば望ましい	68	35.8				63.7
かなり欲しい	45	23.7				87.4
ぜひとも欲しい	24	12.6				100.0
合計	190	100.0				

質問番号： 14 「ネットワーク構築の方法」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	27	14.2				14.2
それほど必要としていない	47	24.7				38.9
あれば望ましい	73	38.4				77.4
かなり欲しい	24	12.6				90.0
ぜひとも欲しい	19	10.0				100.0
合 計	190	100.0				

質問番号： 15 「通信用機器に関する知識」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	24	12.4				12.4
それほど必要としていない	43	22.2				34.5
あれば望ましい	88	45.4				79.9
かなり欲しい	22	11.3				91.2
ぜひとも欲しい	17	8.8				100.0
合 計	194	100.0				

質問番号： 16 「通信業者提供のサービスの情報」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	19	10.2				10.2
それほど必要としていない	42	22.5				32.6
あれば望ましい	84	44.9				77.5
かなり欲しい	25	13.4				90.9
ぜひとも欲しい	17	9.1				100.0
合 計	187	100.0				

質問番号： 18 「コンピュータ適用業務の見分け方」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	16	8.7				8.7
それほど必要としていない	34	18.5				27.2
あれば望ましい	75	40.8				67.9
かなり欲しい	45	24.5				92.4
ぜひとも欲しい	14	7.6				100.0
合 計	184	100.0				

質問番号： 19 「コンピュータ導入のための留意点」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	22	11.6				11.6
それほど必要としていない	33	17.4				28.9
あれば望ましい	77	40.5				69.5
かなり欲しい	35	18.4				87.9
ぜひとも欲しい	23	12.1				100.0
合 計	190	100.0				

質問番号： 20 「コンピュータ化の業務改善方法」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	14	7.4				7.4
それほど必要としていない	26	13.7				21.1
あれば望ましい	72	37.9				58.9
かなり欲しい	44	23.2				82.1
ぜひとも欲しい	34	17.9				100.0
合計	190	100.0				

質問番号： 21 「ハードとソフトの組み合わせ」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	15	7.9				7.9
それほど必要としていない	27	14.3				22.2
あれば望ましい	54	28.6				50.8
かなり欲しい	60	31.7				82.5
ぜひとも欲しい	33	17.5				100.0
合計	189	100.0				

質問番号： 22 「コンピュータの導入効果の情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	21	11.0				11.0
それほど必要としていない	23	12.0				23.0
あれば望ましい	84	44.0				67.0
かなり欲しい	39	20.4				87.4
ぜひとも欲しい	24	12.6				100.0
合計	191	100.0				

質問番号： 23 「他社の成功例に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	20	10.1				10.1
それほど必要としていない	30	15.2				25.3
あれば望ましい	83	41.9				67.2
かなり欲しい	40	20.2				87.4
ぜひとも欲しい	25	12.6				100.0
合計	198	100.0				

質問番号： 24 「他社の失敗例に関する情報」

選択肢文	度数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	18	9.2				9.2
それほど必要としていない	24	12.2				21.4
あれば望ましい	81	41.3				62.8
かなり欲しい	39	19.9				82.7
ぜひとも欲しい	34	17.3				100.0
合計	196	100.0				

質問番号： 26 「社員教育の効果的な方法」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	17	8.6				8.6
それほど必要としていない	36	18.3				26.9
あれば望ましい	80	40.6				67.5
かなり欲しい	51	25.9				93.4
ぜひとも欲しい	13	6.6				100.0
合 計	197	100.0				

質問番号： 27 「社員教育のための適当な教材」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	19	9.7				9.7
それほど必要としていない	36	18.5				28.2
あれば望ましい	83	42.6				70.8
かなり欲しい	42	21.5				92.3
ぜひとも欲しい	15	7.7				100.0
合 計	195	100.0				

質問番号： 28 「公的な教育機関」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	19	10.0				10.0
それほど必要としていない	47	24.7				34.7
あれば望ましい	78	41.1				75.8
かなり欲しい	29	15.3				91.1
ぜひとも欲しい	17	8.9				100.0
合 計	190	100.0				

質問番号： 29 「民間のOA教育機関，専修学校」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	23	12.1				12.1
それほど必要としていない	50	26.3				38.4
あれば望ましい	82	43.2				81.6
かなり欲しい	21	11.1				92.6
ぜひとも欲しい	14	7.4				100.0
合 計	190	100.0				

質問番号： 30 「自習のための適当な雑誌，書籍等」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	14	7.1				7.1
それほど必要としていない	53	26.9				34.0
あれば望ましい	78	39.6				73.6
かなり欲しい	36	18.3				91.9
ぜひとも欲しい	16	8.1				100.0
合 計	197	100.0				

質問番号： 32 「公的な資金援助制度」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	30	15.4				15.4
それほど必要としていない	44	22.6				37.9
あれば望ましい	64	32.8				70.8
かなり欲しい	36	18.5				89.2
ぜひとも欲しい	21	10.8				100.0
合 計	195	100.0				

質問番号： 33 「公的なOA相談所」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	31	16.0				16.0
それほど必要としていない	40	20.6				36.6
あれば望ましい	70	36.1				72.7
かなり欲しい	37	19.1				91.8
ぜひとも欲しい	16	8.2				100.0
合 計	194	100.0				

質問番号： 34 「講演会、セミナー、展示会等」

選 択 肢 文	度 数	%	0	50.0	100.0	CUM%
まったく必要ではない	13	6.6				6.6
それほど必要としていない	41	20.8				27.4
あれば望ましい	91	46.2				73.6
かなり欲しい	40	20.3				93.9
ぜひとも欲しい	12	6.1				100.0
合 計	197	100.0				

(注) 質問番号11と12の文中の SP とはソフトウェア・パッケージの略である。

オフィスオートメーション化推進の ための課題と施策に関する調査

I. ご記入者の所属と役職、および、ご氏名

所属、役職 ()

ご氏名 () 年齢 (才)

II. 貴社についてお尋ねします。

1) 会社名 ()

2) 所在地 (〒)

3) TEL () - () - ()

III. 貴社のOA進展状況についてお答え下さい。(1つ選んで下さい)

- 1) 必要がないので実施していない。
- 2) 必要があると思うが現在は実施できないでいる。
- 3) 近い将来実施する予定であり、検討中である。
- 4) 一部の業務または部門につき実施している。
- 5) 本格的に取り組んでいる。

IV. OAを実施・推進する上で下記のような情報・知識が必要と思われま

す。貴社にとって各項目をどの程度必要としていますか。該当する数字に○印を付けて下さい。

- 1) まったく必要ではない。
- 2) それほど必要としていない。
- 3) あれば望ましい。
- 4) かなり欲しい。
- 5) ぜひとも欲しい。

A. OA機器について

- 1) OA機器のメーカーに関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) OA機器の機能に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) OA機器の価格に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) OA機器の新製品に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 5) OA機器の比較・選定に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 6) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

B. ソフトウェアについて

- 1) プログラミング言語の知識 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) 応用プログラム開発業者に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) 業者が開発した応用プログラムの
 妥当な価格 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) 業種別ニーズ別のソフトウェア
 パッケージに関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 5) ソフトウェアパッケージの
 比較・選定に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 6) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

C. コンピュータ通信について

- 1) ネットワーク構築の方法 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) 通信用機器に関する知識 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) NTT等の通信業者が提供する
 サービスに関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

D. コンピュータの利用方法について

- 1) コンピュータ適用業務の見分け方 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) コンピュータ導入のための留意点 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) コンピュータ化のための業務改善方法 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) 自社のニーズに合ったハードと
 ソフトの組み合わせ (1, 2, 3, 4, 5)
- 5) コンピュータの導入効果に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)

- 6) 他社の成功例に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 7) 他社の失敗例に関する情報 (1, 2, 3, 4, 5)
- 8) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

E. OA教育について

- 1) 社員教育の効果的な方法 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) 社員教育のための適切な教材 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) 公的な教育機関 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) 民間のOA教育機関、専修学校 (1, 2, 3, 4, 5)
- 5) 自習のための適切な雑誌、書籍等 (1, 2, 3, 4, 5)
- 6) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

F. その他の情報

- 1) 公的な資金援助制度 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) 公的なOA相談所 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) 各種の講演会、セミナー、展示会等 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

V. OA化を進めていくためには、現在、情報や知識が不足しているとお考えの方に、その理由をお尋ねします。(いくつでも選んで下さい)。

- 1) 情報の入手先が分からない。
- 2) 近くに相談所がないので不便である。
- 3) 費用がかかりすぎる。
- 4) 情報は多いが、自社のニーズに合った情報がない。
- 5) 情報が古くて、役に立たない。
- 6) 片寄らない公平な情報がない。
- 7) 情報が多すぎてどれが適当なのか分からない。
- 8) 忙しくてそこまで手が回らない。
- 9) 内容が難しく理解できない。
- 10) 技術の進歩が速くて追いつかない。
- 11) その他 ()

VI. OAに関する情報をどのようにして入手されていますか。貴社が今までに利用してきた情報源についてお尋ねします。下記の情報源の中からいくつでも選んで数字に○印を付けて下さい。差し支えなければ購読中の新聞・雑誌等、具体的な名前を括弧内にご記入下さい。その上でそれぞれの情報にどの程度満足しているかを5点満点でお答え下さい。

- 1) 非常に不満足である。
- 2) かなり不満足である。
- 3) まずまずである。
- 4) かなり満足している。
- 5) 非常に満足している。

情 報 源満 足 度

- | | | |
|----------------------|-----|-----------------|
| 1) 一般新聞 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 2) 業界新聞 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 3) 一般雑誌 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 4) 業界誌 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 5) OA専門誌 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 6) 書籍 | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 7) テレビ・ラジオ | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 8) 講習会、セミナー、講演会 | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 9) OA機器メーカーのセールスマン | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 10) OA機器ディーラーのセールスマン | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 11) 税理士、会計士 | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 12) コンサルタント | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 13) 商工会議所、商工会 | | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 14) 業界の団体 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 15) 金融機関 | () | (1, 2, 3, 4, 5) |
| 16) 公的な研究所、試験所 | | (1, 2, 3, 4, 5) |

- 17) 同業者 (1, 2, 3, 4, 5)
 18) 友人 (1, 2, 3, 4, 5)
 19) その他 () (1, 2, 3, 4, 5)

満足されなかった場合には、その理由をお書き下さい。

- (理由:)
 ()
 ()

VII. 下記の機関や制度をご存じですか。該当する数字に○印を付けて下さい。

- 1) 全く知らなかった。初めて聞くことである。
 2) 聞いたことはあるが、よく知らない。
 3) 利用(訪問・申し込み)したことはないが、よく知っている。
 4) たまに利用することがある。
 5) たびたび利用している。

- 1) 和歌山県中小企業情報センター (1, 2, 3, 4, 5)
 2) 各町村の商工会の経営指導員 (1, 2, 3, 4, 5)
 3) 各市の商工会議所の経営相談所 (1, 2, 3, 4, 5)
 4) 和歌山県の機械設備貸与制度 (1, 2, 3, 4, 5)
 5) 和歌山県の中小企業融資制度 (1, 2, 3, 4, 5)
 6) 中小企業金融公庫の情報基盤整備貸付制度 (1, 2, 3, 4, 5)
 7) 国民金融公庫の情報化貸付制度 (1, 2, 3, 4, 5)
 8) ME 機器、コンピュータへの投資減税制度 (1, 2, 3, 4, 5)

ご利用されたことがあれば、ご意見・ご感想をお書き下さい。

- (ご感想:)
 ()
 ()

Ⅷ. 和歌山大学経済学部が実施しました昭和60年度公開講座「情報化社会を考える」をご存じでしたか。(どれか1つを選んで下さい)

- 1) 知らなかった。
- 2) 知っていたが参加しなかった。
- 3) 参加した。

Ⅸ. OA教育、OA要員についてお悩みの企業にお尋ねします。

A. OA教育の問題点は何ですか。(いくつでも選んで下さい)

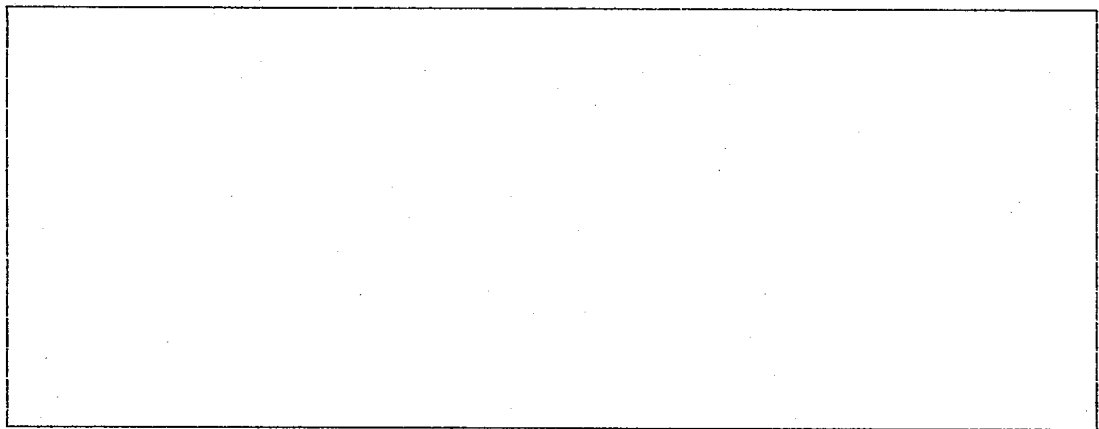
- 1) 現社員のなかに適当な人がいない。
- 2) 社員教育をする時間がない。
- 3) 社員教育をする場所と施設がない。
- 4) 社員教育の費用が負担である。
- 5) 従業員が教育を受けたがらない。
- 6) OA機器メーカー(ディーラー)の研修会は期間が短すぎる。
- 7) OA機器メーカー(ディーラー)の研修会は費用が高すぎる。
- 8) 自分が勉強したいと思っているが、忙しくて時間がない。
- 9) 自分が勉強したいと思っているが、今さら新しいことについていけない。
- 10) もっと効果的な教育方法がないかと悩んでいる。
- 11) その他 ()。

B. OA教育ならびにOA要員の確保にかんして、今後どのような対策をお持ちですか。またご希望をお尋ねします。(いくつでも選んでください)

- 1) 少し無理をしてもやはり社員教育には力を入れたい。
- 2) 当社にとって現状が精一杯である。
- 3) 当社の規模を考えるとOA教育は当分不要である。
- 4) もう少し安い教育機関がほしい。
- 5) もう少し近くに教育機関がほしい。
- 6) 夜間の教育機関がほしい。
- 7) 通信教育機関がほしい。

- 8) OA教育を受けた新卒者を多く送り出してほしい。
- 9) OA技術者の人材センターを設置してほしい。
- 10) 都会で働いているユーターン希望者を紹介してほしい。
- 11) その他 ()。

X. ご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。(前回の調査結果に関するご感想でも結構です)



5月31日までにご返送下さいますよう、かさねてお願い申し上げます。

長時間ご回答頂きまして有難うございました。せっかくの機会ですのでもう少しお尋ねさせて頂きたく存じます。お忙しいこととは存じますが、別紙の方もよろしくお願ひ申し上げます。

O A 化の効果に関する調査

I. 貴社ではO A 機器の導入によって下記のような効果をどの程度得られていますか。5点満点として該当する水準に○印を付けてください。

- 1) 全くない。
- 2) ごくわずかしかない。
- 3) まずまずある。
- 4) かなりある。
- 5) 非常にある。

- 1) 人員が削減された。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 2) 採用人数が減少した。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 3) 業務量が増えたのに人員は
今まで通りで済んでいる。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 4) 残業時間が削減された。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 5) 経費(文書の節約等)が削減された。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 6) 受注処理が迅速になり、お客様から
喜ばれるようになった。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 7) 処理が迅速になり、事務処理に
とられる時間が減った。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 8) 処理が正確になり仕事のミスが減った。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 9) 会社にたいするイメージがよくなった。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 10) 社員のモラル(勤労意欲)が高まった。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 11) 金額・数量の把握が容易になった。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 12) 各種の経営資料が得られるようになり、
管理の方法が変わった。 (1, 2, 3, 4, 5)
- 13) その他の効果 () (1, 2, 3, 4, 5)
- 14) その他の効果 () (1, 2, 3, 4, 5)
- 15) その他の効果 () (1, 2, 3, 4, 5)

II. O A化のために必要な費用と上記の効果を総合的に判断して、全体としてO A化は貴社にとってどの程度プラスとなっていますか。現時点での評価と将来的な評価に分けてお答え下さい（該当する数字をそれぞれ1つだけ選んで下さい）。

- 1) むしろマイナスである。
- 2) プラス・マイナスはゼロである。
- 3) どちらかと言えばプラスである。
- 4) 大いにプラスである。
- 5) 分からない。

現時点での評価 (1, 2, 3, 4, 5)

将来的に見た評価 (1, 2, 3, 4, 5)

III. 総合的に見て現時点では効果は認められないとご回答の場合には、その理由を下記に書いて下さい。

(理由:)
()

有難うございました。O A導入の効果に関してご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

第2回アンケート調査の回答企業をOAの実施状況別にみると、報告書第2章の表2にあるように、218社のうち大半の166社（全体の76.2%）は、OAをすでに実施している企業で占められている。その結果、このグループの企業の回答が全体の結果を左右することになった。しかし、OAをすでに実施している企業とまだ実施していない企業とは事情がかなり異なっている筈である。そこで、OA実施度によって回答がどのように異なるかをクロス分析した。この結果、分析前には分からなかったいくつかの事実が判明した。特に、企業が望んでいる情報の種類には両グループで顕著な差のあることを発見した。この分析によって企業の情報ニーズがどこにあるかを明確に把握できたと考えている。

詳細は資料1, 2, 3, 4を参照されたい。なお、資料1, 2, 3はアンケート集計用ソフトQUEST. PACK (V. 1.0) による出力の一部である。同資料の縦軸・横軸の数字はそれぞれの質問文の選択肢の番号を示しているので、報告書に同じく読みかたのアンケート票を参照されたい。また、各々ス内の数字は1番上が回答企業数、2番目が集合計に対するパーセント、3番目が集合計に対するパーセントを示している。いずれも複数回答の質問項目であるから集合計は218よりも大きい。

1. 情報不足の理由

情報不足の理由としてどの回答が多かったかをOA実施度の違う企業グループごとに示したが、下記の表1である。（詳細は資料1を参照）

表1 OA実施度と情報不足の理由

OA実施度	1位	2位	3位	4位	5位	6位
実施できないている	4	3	8, 10		7	1
実施を計画中	4	6	2, 8, 10			3, 7
一部実施中	4	3	7	8	6	9
本格的に実施中	4	3	7	6	2, 8, 10	

全体を通じて4（ニーズに合った情報がない）と3（費用がかかりすぎる）が上位にきているが、OAを実施計画中の企業だけは費用についてはそれほど障害と考えていない。その代わりに、6（公平な情報がない）と2（近くに相談所がない）が上位にきている。このグループは言ってみれば今一番OA化について真利な立場にあり、彼らの切実さがこのような差になったものと思われる。

つぎに、7（情報が多すぎる）、8（忙しすぎる）、10（技術の進歩が速すぎる）の項目に注意したい。OAを実施している企業では情報洪水の中で適当な情報がわからない（7）が上位にあり、未実施企業では情報収集の時間がなく（8）、かつ技術進歩に追いつかない（10）が上位にある。このように2つのグループで回答がきれいに分かれた。しかし、この3つは表現が異なるだけであって、どのグループの企業も情報過多・情報洪水の状況を示していると考えられることもできる。もしそうであれば、OAを実施している企業と実施していない企業でその表現が異なるというのは興味深い。

2. OA教育の問題点

OA教育の問題点を表1と同じようにOA実施度別に調べたのが、表2である。（詳細は資料2を参照）

表2 OA実施度とOA教育の問題点

OA実施度	1位	2位	3位	4位	5位	6位
実施できないている	2	8	1	4	5	3
実施を計画中	1	8	2	3, 4, 6, 10		
一部実施中	8	2	10	1	3	5
本格的に実施中	2	10	6	1, 7, 8		

時間がないという問題、すなわち2（社員教育をする時間がない）と8（自分で勉強する時間がない）がどのグループでも上位になっている。ただし、本格的に実施中の企業では、2が高くて8はやや低くなっている。

1（適当な人がいない）がOA実施グループよりも未実施グループで上位にあることも目

く。特に、O A 計画中の企業では第 1 位になっている。この結果は、O A 化の推進者を養成しようとしても人材がないというソフトウエアを如実に示している。O A 化を実施できるか否を分ける分岐点は、案外この問題点であるように思われる。より使いやすい機器とソフトの開発が求められる。同様に、O A の実施企業においてさえこの問題が上位に挙げられていることに注意しなければならぬ。これらの企業でも O A 教育を幅広く実施していくのが容易ではないことを同わせている。

10 (教育方法について悩んでいる) が、O A の実施度に比例してだんだん上位になっており、特に O A を本格的に実施している企業で第 2 位に入っている。現在どのような O A 教育がなされ、どの点で効率的でないか等、O A 教育の方法については引き続き調査していきたい。

3. 人材の確保に対する対策

資料 3 の結果を表 1 と同じようにまとめたのが表 3 である。

表 3 O A 実施度と人材確保対策

O A 実施度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
実施できない	3	2	1, 4		5, 8	
実施を計画中	1	5	6	3, 4, 7, 8, 9		
一部実施中	1	5	2	3, 4, 8,		
本格的に実施中	1	8	5	6	9	3, 4

1 (O A 教育に力を入れたい) は、実施できないでいる企業以外で 1 位にある。実施できないでいる企業において 3 (O A 教育は当分不要である) が 1 位、2 (現状で精一杯である) が第 2 位になったことは問題である。経営者自らが O A 化を担当するなら話は別であるが、O A 教育なくして O A を実施できないからである。これらの企業が O A 化に踏み切るのはいかなり先のことである。

教育機関にたいする要望では 4 (安い機関) よりも 9 (近くの機関) の方が希望が高い、人材の確保についてはほとんど 8 (新卒者の採用) を要求しており、9 や 10 (既存の技術者の中途採用) にはあまり乗り気ではないことが同える。また、新卒者がほしい (8) というのは実数が高くなるほど高くなっている。

4. 情報ニーズ

資料 4 は各情報にたいして 4 (かなり欲しい) と、5 (せひとも欲しい) を回答した企業数を全体の企業数で割ったパーセントである。各グループごととニーズの高い情報を拾い出したのが、表 4 である。

表 4 O A 実施度と情報ニーズ

O A 実施度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
実施できない	17	16	27	15	14	3, 18
実施を計画中	5	17	19	9, 10, 14, 20, 21		
一部実施中	17	5	16	4	18	20
本格的に実施中	4	5	2	3	17	10

5 (O A 機器の比較・選定) . 16 (業務改善方法) . 17 (ニーズにあったハードとソフトの組み合わせ) . が上位にあるが、表 1 から表 3 までに比べれば O A 実施グループごとに回答が相当らばっていることが分かる。欲しい情報は O A の実施度によってかなり差のあることを示している。

すこし詳しく検討するために、資料 4 に戻ろう。資料 4 の最下行は各グループごとの平均値、最右欄は回答企業全体の値 (報告書第 2 章の表 5 の数字と同じ) である。最右欄は、また、個々の情報ごとの平均ニーズを示すものでもある。最下行が示すように、情報に対してもっともニーズの高いのが現在 O A 化を計画中の企業である。ほとんど全ての情報にたいして平均 (最右欄) よりも高いニーズを示している。これは十分理解できることである。しかし、ネットワークに関連した情報 (11, 12, 13) に対しては平均以下の数字である。このグループにとってはまだまだネットワークの話は先のことであり、とりあえず O A 化への第一歩を踏み出すのが先決問題であるという明確な姿勢を示している。

次に、O A を本格的に実施している企業の方が一部実施中の企業よりも平均して高いニーズを持っていることも分かった。本格的に実施している企業では O A 機器に関する情報ニーズが特に高かったのが目立っている。表 4 で見るように、1 位から 4 位までが機器関係の情報 (4, 5,

2, 3)である。それに対して、一部実施中の企業では、機器関係の情報(5, 4)にまじって、コンピュータ化のための業務改善方法(16)やコンピュータ化の効果(18)についての情報ニーダが高くなっている。一部実施中の企業の中に、未だOA化に向けて提案中の企業が含まれているように思われる。ちなみに、このグループの企業において本格的実施企業よりも情報ニーダが高い情報を資料4から取り出すと、14, 16, 17, 18, 23, 27, 28となる。最後に、OA化を実施したいが困難であるという企業では、ほとんどの情報に対して平均以下のニーダしかなかった。13, 15, 27, 28, の4つは例外である。コンピュータ導入の留意点(15)、OA相談所(27)、講演会セミナー展示会等に関する情報(28)への要求が平均値以上に高いところに、このグループの特徴がよく出ている(13の要求が高かったのはよく分からない)。それにしてもこのグループにおいて情報へのニーダがいちばん低かったのは理解できない。なぜならば、情報の不足がOA化を妨げる最大の要因であるという第1回目のアンケート調査の結果に照らしてみても、このグループでこそ強い情報ニーダがなければならぬからである。OA教育の問題点や人材確保の対策でも見たように、このグループではOA化への道りは遠すぎるために、情報へのニーダも現実味が乏しいのかもかもしれない。

資料1 OA実施度と情報不足の理由

	1	2	3	4	5	統計
1	2	8	0	12	3	25
	8.0	32.0	0.0	48.0	12.0	100.0
	25.0	9.9	0.0	5.1	4.2	5.9
2	1	5	4	13	4	27
	3.7	18.5	14.8	48.1	14.8	100.0
	12.5	6.2	12.1	5.6	5.6	6.3
3	1	13	3	39	10	66
	1.5	19.7	4.5	59.1	15.2	100.0
	12.5	16.0	9.1	16.7	14.1	15.5
4	1	14	8	62	25	110
	0.9	12.7	7.3	56.4	22.7	100.0
	12.5	17.3	24.2	26.5	35.2	25.8
5	0	0	0	3	0	3
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.7
6	0	4	5	21	8	38
	0.0	10.5	13.2	55.3	21.1	100.0
	0.0	4.9	15.2	9.0	11.3	8.9
7	0	9	3	27	9	48
	0.0	18.8	6.3	56.3	18.8	100.0
	0.0	11.1	9.1	11.5	12.7	11.2
8	1	11	4	24	4	44
	2.3	25.0	9.1	54.5	9.1	100.0
	12.5	13.6	12.1	10.3	5.6	10.3
9	1	5	2	19	3	30
	3.3	16.7	6.7	63.3	10.0	100.0
	12.5	6.2	6.1	8.1	4.2	7.0
10	1	11	4	12	4	32
	3.1	34.4	12.5	37.5	12.5	100.0
	12.5	13.6	12.1	5.1	5.6	7.5
11	0	1	0	2	1	4
	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	100.0
	0.0	1.2	0.0	0.9	1.4	0.9
統計	8	81	33	234	71	427
	1.9	19.0	7.7	54.8	16.6	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

情報の質問文： 情報や知識が不足している理由
 統計の質問文： OA進捗状況について

資料2 O A実施度とO A教育の問題点

	1	2	3	4	5	総計
1	0 0.0	13 24.5	7 13.2	24 45.3	9 17.0	53 100.0
	0.0	15.5	25.0	10.1	9.7	11.8
2	0 0.0	15 18.5	5 6.2	40 49.4	21 25.9	81 100.0
	0.0	17.9	17.9	16.8	22.6	18.1
3	0 0.0	8 20.0	2 5.0	23 57.5	7 17.5	40 100.0
	0.0	9.5	7.1	9.7	7.5	8.9
4	0 0.0	12 37.5	2 6.3	15 46.9	3 9.4	32 100.0
	0.0	14.3	7.1	6.3	3.2	7.1
5	2 5.7	9 25.7	1 2.9	17 48.6	6 17.1	35 100.0
	40.0	10.7	3.6	7.1	6.5	7.8
6	0 0.0	3 10.0	2 6.7	15 50.0	10 33.3	30 100.0
	0.0	3.6	7.1	6.3	10.8	6.7
7	0 0.0	1 4.0	0 0.0	15 60.0	9 36.0	25 100.0
	0.0	1.2	0.0	6.3	9.7	5.6
8	1 1.3	14 17.9	6 7.7	48 61.5	9 11.5	78 100.0
	20.0	16.7	21.4	20.2	9.7	17.4
9	1 6.3	6 37.5	1 6.3	7 43.8	1 6.3	16 100.0
	20.0	7.1	3.6	2.9	1.1	3.6
10	1 2.0	3 5.9	2 3.9	29 56.9	16 31.4	51 100.0
	20.0	3.6	7.1	12.2	17.2	11.4
11	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	7 100.0
	0.0	0.0	0.0	2.1	2.2	1.6
総計	5 100.0	84 18.8	28 6.3	238 53.1	93 20.8	448 100.0

採種の質問文： O A教育の問題点
採種の質問文： O A進捗状況について

資料3 O A実施度と人材確保対策

	1	2	3	4	5	総計
1	0 0.0	6 6.9	7 8.0	46 52.9	28 32.2	87 100.0
	0.0	10.9	25.0	23.7	28.6	22.8
2	1 2.5	9 22.5	0 0.0	26 65.0	4 10.0	40 100.0
	16.7	16.4	0.0	13.4	4.1	10.5
3	5 11.9	11 26.2	2 4.8	17 40.5	7 16.7	42 100.0
	83.3	20.0	7.1	8.8	7.1	11.0
4	0 0.0	6 18.8	2 6.3	17 53.1	7 21.9	32 100.0
	0.0	10.9	7.1	8.8	7.1	8.4
5	0 0.0	5 9.6	6 11.5	28 53.8	13 25.0	52 100.0
	0.0	9.1	21.4	14.4	13.3	13.6
6	0 0.0	3 9.1	4 12.1	16 48.5	10 30.3	33 100.0
	0.0	5.5	14.3	8.2	10.2	8.7
7	0 0.0	4 22.2	2 11.1	8 44.4	4 22.2	18 100.0
	0.0	7.3	7.1	4.1	4.1	4.7
8	0 0.0	5 13.2	2 5.3	17 44.7	14 36.8	38 100.0
	0.0	9.1	7.1	8.8	14.3	10.0
9	0 0.0	3 11.1	2 7.4	14 51.9	8 29.6	27 100.0
	0.0	5.5	7.1	7.2	8.2	7.1
10	0 0.0	2 18.2	1 9.1	5 45.5	3 27.3	11 100.0
	0.0	3.6	3.6	2.6	3.1	2.9
11	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.3
総計	6 100.0	55 14.4	28 7.3	194 50.9	98 25.7	381 100.0

採種の質問文： O A教育、O A型属の確保の対策
採種の質問文： O A進捗状況について

情報の種類	実施田荘	実施計画中	一部実施	未格的実施	全体
1) O.A.機器のメーカー	7.4	50.0	10.0	36.4	20.7
2) O.A.機器の機能	17.2	54.5	32.7	56.8	36.2
3) O.A.機器の価格	29.6	44.4	31.1	50.0	35.1
4) O.A.機器の所製品	16.9	66.7	36.2	65.9	41.3
5) O.A.機器の比較・選定	28.6	90.0	46.1	61.4	48.2
6) プログラミング言語	7.1	25.0	22.5	42.2	24.4
7) プログラム開発者	14.8	37.5	25.2	33.3	25.6
8) プログラムの価格	28.6	50.0	29.8	44.4	33.3
9) ニーズ別ソフトウェアパッケージ	17.9	70.0	30.8	44.4	33.4
10) ソフトウェアパッケージの比較	22.2	70.0	33.7	46.7	36.3
11) ネットワーク構築方法	17.9	22.2	16.5	42.2	22.6
12) 通信用機器	13.8	20.0	16.2	35.6	20.1
13) 通信業者提供のサービス	25.9	12.5	19.6	31.1	22.5
14) コンピュータ適用業務	30.8	70.0	30.3	29.5	32.1
15) コンピュータ導入の留意点	31.0	40.0	28.4	34.1	30.5
16) 業務改善方法	37.0	60.0	41.7	40.0	41.1
17) ハードとソフトウェアの組み合わせ	40.7	80.0	50.5	47.7	49.2
18) コンピュータ導入の効果	29.6	50.0	34.6	28.9	33.0
19) 他社の成功例	25.0	72.7	29.4	37.0	32.8
20) 他社の失敗例	28.6	70.0	34.3	43.5	37.2
21) 社員教育の効果的な方法	28.6	70.0	28.0	40.4	32.5
22) 社員教育の適当な教材	22.2	66.7	26.7	32.6	29.2
23) 公的なO.A.教育機関	14.8	55.6	27.5	19.1	24.2
24) 民間のO.A.教育機関	14.3	40.0	17.0	21.3	18.5
25) 自習のための教材	21.4	53.8	24.0	29.8	26.4
26) 公的な資金援助制度	25.9	41.7	29.8	29.8	29.3
27) 公的なO.A.相談所	33.3	63.6	25.2	23.4	27.3
28) 協議会・セミナー等	27.6	63.6	21.8	23.4	29.4
平均	23.5	53.9	28.9	38.2	31.1